

議会だより

第132号

平成29年11月1日発行
宮城県松島町議会



空手道の教えを通じ青少年健全育成を！（松島空手道場の子どもたち）

- ◇ 町長の考えを問う（総括質疑）…………… P5
- ◇ 私はここが聞きたい
～決算審査特別委員会～…………… P8
- ◇ 個人情報保護条例一部改正等（議案審議）
…………… P17
- ◇ 6人の議員が熱弁（一般質問）…………… P28
- ◇ 町民の声…………… P36

平成29年
第3回 定例会

[9月1日～9月15日]

歳入

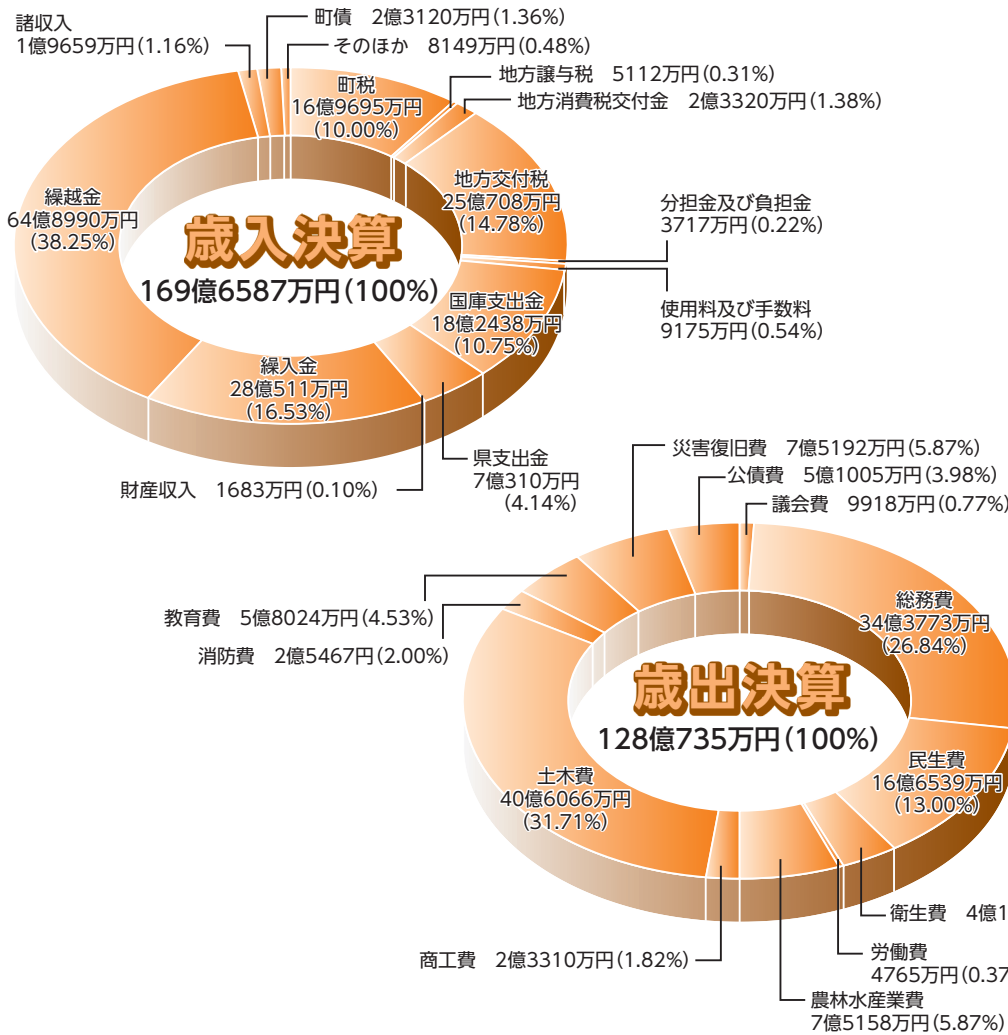
歳出

認定

約170億 約128億

決算

一般会計決算



※構成比の数値は、四捨五入しているため、数値が合わない場合があります。

平成29年第3回定例会が9月1日から15日までの15日間の会期で開催されました。提案された内容は、議案12件（条例の一部改正、物品売買契約の締結、工事委託に関する協定の締結、和解及び損害賠償の額の決定、各種会計補正予算）議員提案2件（議会委員会条例の一部改正、宮城県国民健康保険運営方針案に係る意見書）でした。審議の結果、全て原案のとおり可決しました。また、平成28年度各種会計の決算審査は、特別委員会を設置して審議し、一般会計を含む9会計すべてを認定しました。

一般会計の基金(預金)と地方債(借入金)の状況

預金は18億

町民ひとりあたり **12.3万円**

借金は60億

町民ひとりあたり **41万円**

項目	金額 (万円未満四捨五入)
基金(預金)残高	17億9963万円
地方債(借入金)残高	60億2278万円

※平成29年3月31日人口：1万4632人

決算収支は黒字になりました。

歳入歳出差引額 41億5852万円

- ①28年度の繰越事業 10億9385万円
- ②基金に積み立て 15億3300万円
- ③29年度への財源として繰越し 15億3166万円

復興事業加速と 子ども医療助成18歳まで拡大

決算



石田沢防災センター



リズム遊びの会（児童館）

主にこのような事業に使われました。

事業名	支出額	内 容
復興推進費	14億7064万円	町実施主体の事業に対する復興交付金の配分を受け、名籠・早川地区の漁業集落防災強化や町道磯崎・手樽線道路整備また石田沢・三十刈避難所整備ほか各種事業を行った。
地方創生費	7186万円	地方創生加速化交付金事業の官民連携による松島リブランディング事業で松島の価値について再認識を行い、創業者支援事業補助金で新たに町内で起業する者に支援をした。
老人福祉費	943万円	敬老会を開催し、式典・アトラクションを催し長寿を祝った。また、88歳に達した方108人、99歳に達した方8人に祝い金を贈った。
子ども医療対策費	4429万円	入通院とも対象年齢を18歳まで拡大することにより医療機会を確保し、子どもの福祉向上が図られ、親の経済的負担の軽減が図られた。対象者数は1,796人。
子育て支援事業費	1104万円	子育て支援事業で相談対応や各種教室、イベントを行うとともに、ファミリー・サポート・センター事業を開始し、住民相互の子育て支援体制の整備を図った。また、子育て支援に特化したホームページを作成し、広報体制の整備に努めた。
観光費	1億96万円	歴史・文化などの松島特有の恵まれた自然環境や地域資源を生かし、松島の魅力発信に務めた。また、観光客の利便と安全を確保するため、瑞巖寺総門トイレ整備工事に着手した。国際交流員による外国人から見た松島の魅力発信と受入強化を図った。
道路新設改良費	1億683万円	東日本大震災復興交付金として採択を受けた避難道路整備事業については、測量設計、土地購入及び物件等移設補償を行い、避難道路工事を実施し、事業の推進が図られた。
学び支援事業費	668万円	児童・生徒における家庭学習の習慣化に繋げるため、各小・中学校の放課後、長期休業等を利用した自主学習支援を実施した。これにより積極的に自主学習に取り組む子どもたちが見られた。
公共土木施設災害復旧費	7億5192万円	東日本大震災により被災した道路、橋梁の災害復旧に伴う用地買収・物件等の補償や工事を実施した。また、漁港・海岸施設の災害復旧工事を実施し、施設の復旧が図られた。

平成28年度特別会計歳入歳出内訳

(万円未満四捨五入)

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	21億6473万円	19億7653万円
後期高齢者医療	1億9203万円	1億9172万円
介護保険	15億9037万円	15億3913万円
介護サービス事業	641万円	641万円
観瀾亭等	8584万円	8161万円
松島区外区有財産	273万円	190万円
下水道事業	47億232万円	27億3854万円

水道事業会計収支内訳

(万円未満四捨五入)

区分	収入	支出
収益的収支	5億9340万円	5億6237万円
資本的収支	3763万円	6418万円

※水道事業会計の資本的収支に不足する2655万円は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんした。

監査委員審査報告

一般会計

平成28年度の最優先施策と位置付けた東日本大震災復興交付金事業44事業のうち、平成28年度は4事業が完了、これまで19事業が完了となり、着実な推進が図られてい

る。期間内完成に向けて、なお一層の努力が求められる。

東北放射光施設は仙台市青葉山に決定された。

雇用促進・定住促進につながる関連施設等の新たな企業誘致に積極的に取り組むよう望む。

観光班職員の時間外勤務手当が突出している。長時間労働の削減は喫緊の課題であり、担当課だけのしわ寄せにならないような対策を講じること

を望む。
復旧・復興事業による施設は、完成後は町単独で維持管理することとな

る。派遣職員等からの引継ぎを確実にする管理体制の確立・強化が望まれる。

地域住民の協力で道路の草刈りを実施しているが、高齢化や若者の地域離れで協力者が減少している。草刈りの在り方を検討し、環境保全に努めることを望む。

耐用年数を超えた町営住宅は、修繕可能なものは修繕するが、基本は廃止する。廃止後の跡地利用等も含め計画を策定していくべきである。

宅地かさ上げ等事業補助金は不用額が多い。再建後の申請も可能であり、被災者に対する周知徹底を図るよう望む。

不登校児童生徒の心のケア相談支援体制を整え、学校と家庭、各関係機関と連携し、学校生活復帰に努めている。不登校の原因は多種多様で一朝一夕には解決することは難しいと思うが、自ら登校できるケア相談支援体制の充実を望む。

特別会計

国民健康保険特別会計

は、平成30年4月から宮城県が保険者となるが、現状のままでは財政状況が大きく変化することはないと思われる。医療保険制度を維持するために国が責任をもつて財源を確保するよう求めていくことを望む。

介護保険特別会計は、

高齢化率の上昇とともに介護認定者は年々増加していく中で、現役世代の保険料が減少していく。今後、国庫負担の増額を求めるなど、町民が安心して受けられる介護サービスの運営主体となるよう望む。

介護サービス事業特別

会計は、制度改正が進む中にあっても引続き、要支援認定者に対し、住民の相談に応じた適切なサービスを円滑に提供できる支援体制の充実を望む。

水道事業会計

事業の財政状況は、おむね妥当であり、安定した経営となっている。

今後は、経営収支を安定し、安全な水道供給を図り、新たな未収金の発生を減らすとともに、継続して縮減に取り組み

下水道事業特別会計は、平成27年度から進めている浄化センターの長寿命化工事の財源確保のため町債が増えており、財政構造の弾力性が低くなっていることが予測できる。下水道事業は、公衆衛生の向上や浸水対策など生活環境改善に欠かせないことから、浄化センターの維持管理運営の経費節減に努め、効率的な経営を図るよう望む。

また、漏水の早期発見・修繕の体制を強化・工夫し、有収率の向上を望む。

監査委員

丹野和男
菅野良雄

町の財政状況は基準内です

財政健全化判断比率

(単位：%)

指標の名称	松島町の健全化判断比率	早期健全化基準
実質赤字比率	なし	15.00
連続実質赤字比率	なし	20.00
実質公債費率	9.4	25.0
将来負担比率	71.2	350.0

資金不足

(単位：%)

会計の名称	松島町の資金不足比率	経営健全化比率
水道事業会計	なし	20.0
下水道事業特別会計	なし	20.0
観瀾亭等特別会計	なし	20.0

町長の考えを問う

高橋 幸彦 議員

決算に対する感想は

問 今回の決算は、町長の初めての予算に対する決算だが、その感想は。

町長 監査委員さんの意見書で、おおむね良好であるという評価してもらったが、残った課題も多い。

人口減少対策と定住促進

問 人口減少対策と定住促進が、町一番の課題ではないか、その対策は。

町長 少子化対策として、30年度から子育て支援や保育所の環境整備を行い、高齢者対策と2本の柱で進める。定住促進対策では、土地利用者も絡んでいるが、企画の中で考えていく。

観光振興対策は

問 来年は瑞巖寺落慶法要があり、また松島海岸駅のバリアフリー化が動きはじめると思うが。

町長 公園整備が佳境に入り、国道の歩道拡幅工事も進んでおり、工事量も多くなっている。海岸駅のバリアフリー計画や、

観光エリアの整備も含め、宮城県の先頭に立って行くのが松島の立場である。

ホームページの情報発信

問 英語のホームページへのアクセス数が増えているが。

産業観光課長 前国際交流員の立ち上げた「Visit Matsushima」が大変好評である。現交流員のステイションも、これまでのいいところを踏まえて、発信の仕方を拡大していくと期待している。

東北放射光施設建設予定地の今後は

問 東北放射光施設は仙台市青葉山になってしまったが、開発業者への今後の協力体制は。

企画調整課長 放射光施設の関連企業と説明会や意見交換会を行った。放射光施設が実現すると決まった時には、その企業と細かい検討を行い、松島の新たなPRを行う。

ファミリーサポートセンター事業

問 ファミリーサポートセンター事業の利用実績が少ないのではないかと。

町民福祉課長 昨年10月からの事業なので、利用件数が3件と少なかったが、29年度は8月時点で12件の実績があり、徐々に増えている。利用者の声を聞くなど、改善していく。

松島こども英語ガイド事業

問 8月15日の海の盆でもこども英語ガイドが活躍していたが。

町長 英語は小学校でも授業化され、ますます重要になる。この事業は2020年の東京オリンピックに向けて、継続していきたい。



こども英語ガイド

小幡 公雄 議員

お金がないって

問 最近、「町さ金ねえんだべ」と言う声が聞かれるが、監査報告でも、そのような根拠はどこにもない。

金がないから何かしらが出来ないという。これは禁句にして欲しいと思うがいかがか。

町長 予定外の事業が発生した場合、議論の中で担当職員に、「今やる金がないのではないかと」言うことはある。

しかし、「町民に金がない」と言ったことはない。

副町長 年間の事業は、単年度予算の中で歳入と歳出のバランスで決定する。

町民の皆さんからの要望に、次年度以降にスライドしていく分が、ものの言い方としては、お金がないから後回しという表現になるものと思う。

固定資産台帳の年度内整備は

問 平成27年1月に、総務省より「統一的な基準による地方公会計」制度が通達され、29年度末までに財務諸表の整備が求められると思う。

先送りとなると残念だがどうか。

財務課長 原則は、そういう通知内容になっているが、遅れている。やむを得ない場合は、それが認められている。

固定資産税の台帳整備は、29年度、30年度中に財務諸表を作って公表の形となる。



今野 章 議員

長期総合計画の見直しが必要では

問 昨年スタートした長期総合計画については、人口減少に歯止めをかける定住対策や新たな公共交通網の構築、救急医療体制、医療や介護など社会保障の充実へ国に物申す町の立ち位置、町内産業とりわけ農業は国の政策に沿っただけでは成り立たないこと、計画期間が10年と短期間なのに施策にメリハリがないと反対した。

計画の見直しが必要ではないか。

町長 指摘の内容はいま、全部取り組んでいると思う。長期総合計画とともに震災復興も行うため、着手しているもの、いないもの多々ある。長総は一番の基になる計画であるが、その時は議会とも議論したい。

ゴミの排出抑制は

問 気象変動が激しく温暖化対策、CO₂排出削減は喫緊の課題である。ゴミ排出目標、1日1人930gに対し本町は1204gで前年を上回った。

事業系ゴミの排出抑制が重要と言ってきたが、その取り組みは。

総務課長 東部衛生処理組合の搬入量で生活系ごみは2%の減、事業系ごみが9%増。事業系ごみの増加は、瑞巖寺の本堂の拝観再開やミュージアム松島の開館など、観光客入込数の増加が原因と思われる。ごみの分別事典を事業所にも配布したが、浸透していないのが現状である。

長時間勤務、過労死ラインも

問 副教材費などの校納金の削減努力と部活動等の父母負担、経費を把握しているか。また、部活など生徒の休養日、先生方の勤務実態、拘束時間についての把握と指導はどうなっているか。

教育長

ドリルなどは使いつけるよう、また、理科や社会科のノートは普通のノートに変え削減に努力している。部活の経費は把握していない。

また、中学校で勤務時間が長く、過労死ラインに近い先生もいる。問題を重くとらえ校長会でも話している。県教委の通知では、平日の1日と土日のいずれかを休ませるとなっている。これは子供の活動時間の縮小にもなるが、ハイシーズン、中体連などは学校長の裁量にまかされている。また、スポーツ少年団系の部活動では危惧すべき点もあり、子どもたちの体調をよく管理するように求めている。

障害者控除、認定証は

問 要介護認定者で、障害者控除の対象者認定証の発行は現在も行っているか確認したい。

健康長寿課長 障害者手帳1、2級の保持者以外の介護認定を受けている方に認定証を出している。要介護3以上の方は、特別障害者控除、要介護1、2の方は障害者控除に該当する。ケアマネージャーなどが利用者にはその都度周知している。

色川 晴夫 議員

税収減の中、今後の町運営は

問 普通交付税が1億円減の17億円台で、あと3年で震災復興事業も終わることを含めて、今後の取り組みは。

町長 27、28年度予算はかつてない予算総額であったが、今後は復興事業が終わり、震災前の予算に戻る。避難施設完成後の管理費、雨水排水機場の維持管理費などに経費がかかるため、気を引き締め必要最小限に抑えたい。また、既存施設もあり公共施設の管理計画を立て、老朽化した施設は解体するぐらいの判断をしなければならぬ。さらに、補助金も見直したい。

職員の意識改革は

問 28年度から3年間で職員の勤務評定を人事評価に変える方針を出した1年経過し、職員の意識はどう変わったか。

総務課長 予算審査の提言を踏まえ、外部講師に

よる研修会を行った。28年度は9月からの半年の評価で結果にはらつきがあり、さらに29年度1年間の試行を行い、30年度から給料に反映するため改善と必要な規定等を作成していく。

予算を過剰に計上していないか

問 予算は単年度で事業額を見積り、議会の承認を得る。決算書では震災関連を除くと不用額が約2億円であり、毎年指摘されているが、過剰な予算計上をしているのではないか。

副町長 事業の執行残が確定後、早い時期に減額補正を行ったが、年度末に確定する負担金については12月頃から調整の指導をしている。対応が足りなかったこともあり、今後ともさらに指導していく。



ごみ集積所

ふるさと納税の主旨をダイレクトに訴えるべき

問 ふるさと納税額は1377万8千円であった。高額な返礼品に国の指導が入る自治体もあるが、本町はどうか。
財務課長 返礼品は寄附の3割程度が望ましいということなので、本町は大丈夫である。

問 寄附金の使途は7項目あるが、松くい虫被害、子育て支援など、ダイレクトに訴えるべきではないか。
町長 28年度はカキがノロウイルスの影響でキャンセルが多かった。使途については、来年の花火大会の費用等で集められないか、職員に問題提起

し研究している。松くい虫対策は、二市三町広域で国会に要望を出している。

町制90周年に向け考えは

問 来年は町制90周年になる。何か考えはあるのか。
町長 震災復興が終わった時点で考える。来年は瑞巖寺落慶法要を中心に取り組んでいく。

副町長 決算により導き出された財政力指数や経常収支比率は、今後の色々な政策や財政運営の面からは、厳しい数字であり、全職員に周知を行い真剣に考えていかなければならない。

赤間 幸夫 議員

財政構造を示す指標は

問 平成28年度財政力指数と経常収支比率、この指標の比率や指数が持つ意味について、どのように認識し、今後の財政運営に、取り組んでいくのか。
副町長 決算により導き出された財政力指数や経常収支比率は、今後の色々な政策や財政運営の面からは、厳しい数字であり、全職員に周知を行い真剣に考えていかなければならない。

文書管理実態は

問 住民の各種台帳や契約上の記録等、永年保存文書（10年以上）の管理実態は、どのようになっているのか。
総務課長・町民福祉課長 文書管理は非常に大事であり、紙ベースでの書庫保存と住民の各種台帳などのようにシステム管理の方法で管理を行い、条例に基づく情報公開等に備えている。

町営住宅の将来は

問 相当年月を経た町営住宅は、その近い将来をどのように考えているのか。
建設課長 木造住宅の将来必要となる目標戸数を鑑み計画を立てなければならぬが、現段階では修繕により丁寧にご使用いただく。また、払い下げも検討するが、まだその段階ではないと考えている。

介護保険料の見直しは

問 介護保険計画の見直し作業中であるが、町が主体となる総合支援事業のウエイトが高まれば、介護保険料は、今後引き上げされていくのでは。
健康長寿課長 高齢化率の高い市町村へは、国の調整交付金が5%のところ7%弱交付されている。それを保険料軽減に使ってきた経緯があり、1億円前後の基金は確保している。保険料はなるべく上げない形で考えたい。

空き家・空き地情報に工夫を

問 空き家・空き地の情報発信では、ホームページも含め、もう少し工夫を行い、内容がわかりやすいものにしていただきたい。
企画調整課長 町でやる範囲は、不動産業に抵触しない範囲、民業を圧迫しない範囲ということで、この辺を踏まえてよりよい中身にして、それを有効活用できるように努力を、これからも続けていく。

延長保育の取り組みは

問 町内4施設では、それぞれ区分けして延長保育、特別延長保育が実施されているが、従事する保育士の状況は。
町民福祉課長 延長保育は朝の7時30分から8時30分、夕方の16時から18時。特別延長保育は7時から7時30分、夕方の18時から19時までとなっている。正職員や資格のある臨時職員と派遣会社からの職員2名も加わり、何とか資格を持つ保育士で実施している。



ふるさとの納税返礼品の「かき」



町営住宅上初原団地

私はここが聞きたい!

～決算審査特別委員会～



決算審査特別委員会 澁谷秀夫委員長

議会事務局

議会資料のコピー代とは

赤間幸夫委員 どのような状況でコピー代を請求するのか。

議会事務局長 閲覧以外に参考図書等の資料を求められた場合である。

会計課

通帳の印鑑は

阿部幸夫委員 各通帳の印鑑の名義はどうなっているのか。

会計管理者兼会計課長 会計管理者の印鑑を使用している。

選挙管理委員会

10代の投票率の向上を

櫻井靖委員 10代の投票率が低いのではないのか。

選挙管理委員会事務局長 他の年代と比べて、特別に低いわけではないが、18歳、19歳、20歳の誕生日のバースデーはがきを送ったり、松島高校へ選挙出前講座を実施したり、松高生に期日前投票の立会人をお願いするなどして、選挙への関心を高めていく。

総務課

職員の残業と健康は

赤間幸夫委員 職員の残業時間に偏りがあるのではないのか。

総務課長 職員の退庁時間を毎日チェックしており、残業時間の偏った職員がいれば班長や課長に是正を求めている。また、22時を超えての残業は原則禁止としている。

赤間幸夫委員

時間外勤務手当や代休の対応は。

総務課長 時間外勤務手当はもちろん支払っている。代休措置ももちろんであるが、あまり利用者がいない。

小幡公雄委員

以前より職員数は増えているのに、

残業が多いのではないのか。
総務課長 大震災の復旧・復興関連の事務事業もあり、仕事の内容も複雑化、多様化している。

後藤良郎委員

職員の健康診断で再検査が多いが。

総務課長 人間ドックの基準が厳しくなっているが、病院で再診すると異常なしの人が多い。

今野章委員

個人情報ウェブシステムとは。

総務管理班主査 個人情報保護条例の改正により、町で管理している個人情報報の台帳をデジタルで管理しているもので、外部接続せず、庁舎内で台帳として扱っているもの。

高橋利典委員

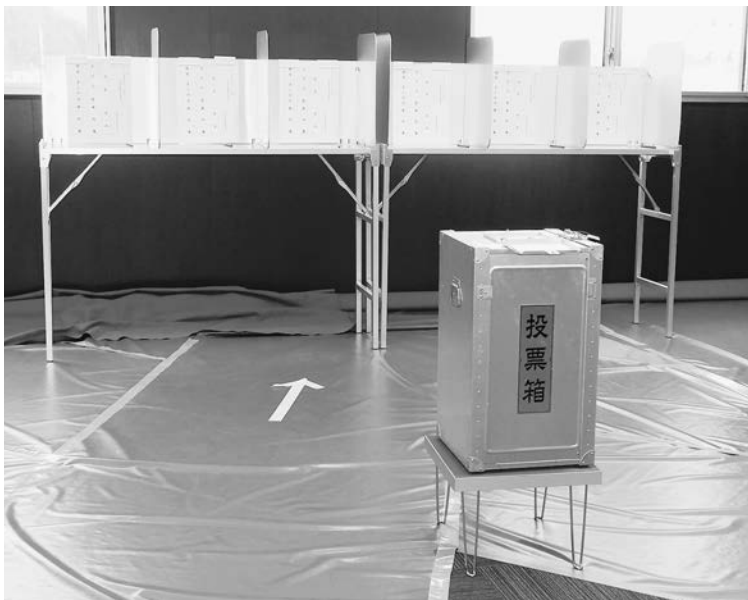
熊本地震の見舞金は。

総務管理班長 宮城県がまとめて全市町村がおの10万円であり、松島町の義援金は副町長が御船町へ届けた。

防犯灯のLED化は

今野章委員 通学路防犯灯のLED化の見通しは。

環境防災班長 平成32年度まで環境交付金を活用し、34年度までに町管理の防犯灯LED化を100%に近づけたい。



投票率の向上を

高橋利典委員 防災無線が相変わらず聞き取りにくい。戸別受信機の対応は。

環境防災班長 機器の調整等を随時行っているが、気候条件等もあり、検討課題である。

総務課長 戸別受信機の全戸配備は難しい。

櫻井靖委員 自主防災組織の結成率の向上を。

環境防災班長 職員を防災士養成講座に参加させ、その講義内容等を地域に反映させ、結成率の向上に努めたい。

企画調整課

ホームページと「広報まつしま」を見やすく

櫻井靖委員 町のホームページが見づらく、必要な情報を得にくい。また、古い情報やリンクなどを整理し、松島全体がわかりやすいホームページにできないか。

企画調整課長 広報委員会を月1回開催し、よりよい形にと継続的に努力しているが、委員のアド

バイスも踏まえ改善していきたい。

阿部幸夫委員 「広報まつしま」は、活字も大事な情報も多い。年配者に対して、もう一工夫できないか。

企画調整課長 限られた紙面で情報をお伝えしなければならぬが、バランスなど広報委員会等で議論し改善を進めたい。

赤間幸夫委員 「広報まつしま」の単価は。また、月初めの行事等を考慮し、行政区への広報の届けを早くできないか。

企画調整課長 広報配布日の前倒しは毎月同じサイクルであり難しい。月初めのイベント等は極力前の月にお知らせするようにしたい。

企画調整課次長 ページ約1・5円で1冊当たり36円ぐらいとなる。

今野章委員 行政評価制度を28年から3年かけて導入することだが、制度運用をどのように検討されているか。評価の客観性はどうか。

企画調整課長 P D C A を盛り込んだ行政評価を考えている。

28年度、29年度は職員のトレーニング期間として研修を行い、30年度から実際に業務に反映させ、将来は町民にも「見える化」したい。

評価は、当面総合計画審議会委員に意見をいただきたいながら構築したい。

色川晴夫委員 海岸地区の全域ではないが、デジタル放送が受信できない地域がある。他の地区はどうか。また難視改善の対策は。

企画調整課長 現在、町内で難視の情報があるのは海岸地区のみである。ギャップファイラーなど施設に異常は確認されず、原因不明だが早期に改善策を検討したい。

小幡公雄委員 都市計画マスタープランの策定中だが、桜渡戸や初原の利府街道の歩道整備等について進展はあるか。

企画調整課長 塩釜地区広域行政、宮城県町村会を通じ改善の要望を継続

的に粘り強く行い、早期実現を県に働きかけていきたい。

健康長寿課

各種検診や予防接種の受診率向上を

櫻井靖委員 乳幼児健診や定期予防接種など10%ぐらい受けていない。どのような理由によるものか。

健康づくり班長 健診の未受診理由としては、保護者が希望しない場合が多く、電話や訪問等で受診勧奨に努めている。

また、予防接種についても同様である。

色川晴夫委員 共稼ぎでも収入の少ない家庭では、虫歯になる乳幼児が多いと聞く。子ども達の歯の健康状態はどうか。

健康長寿課長 乳幼児健診、相談の機会を半年ごとに設け、さらに保育所、幼稚園、小学校に歯科衛生士、保健師等が指導に行っており成果もでてくる。今後も妊娠中から学齢期まで継続した支援を

行っていきたい。

阿部幸夫委員 献血に年齢制限はあるのか。その理由は何か。

健康づくり班長 献血は16歳から64歳まで可能で、60歳以降に献血の経験があれば69歳まで可能。制限理由は、高齢になると病気治療中や薬を飲む方が増え、献血に協力する方が減少するためと思う。

今野章委員 特定健診の事業でクレアチニンや腎臓関係の検査を独自に追加している理由は何か。

健康づくり班長 特定健診受診者の8割がヘモグロビンa1C(血糖値)が非常に高い状況で、高血圧と脂質異常、高血糖の3つを合せ持つ方も多く腎機能などに影響しやすいこと、またクレアチニンの検査結果から腎機能eGFRが50未満の方は徹底して保健師、栄養士が電話や訪問指導を実施している。



住民健康診査の様子

小幡公雄委員 28年度の自殺対策緊急強化事業の実績、取り組みの内容は。

健康づくり班長 自殺者は、28年度2名で24年度までは年4人から5人、以降は年1人から2人である。自殺対策事業では、民生委員や各種団体、ボランティアなどを中心にメンタルヘルス向上のためのサポーター養成講座を実施したほか、健診期間中の心の健康相談、災害公営住宅入居者へのメンタルヘルス向上に努めている。

櫻井靖委員 ふれあいの湯の入浴料収入が下がっているが、その要因は何か。

健康長寿課長 近年、町内に日帰り入浴施設がふえたこと。また、浴槽の水漏れや部屋等の修繕で、休みが多くなったことが影響している。

介護保険特別会計

高齢者SOS ネットワーク登録は

今野章委員 高齢者SONEネットワーク登録者は町内で5名ということだが、実際に町内で認知症と把握できる人数は。

高齢者支援班長 介護認定を受けている方の認知症の自立度で、家庭の外でも困難を感じる程度以上の重度を含めると486人、さらに予備軍がいる。65歳以上における出現率は9・3%となっている。

赤間幸夫委員 成年後見制度において、町長申し立てに至る流れとその対応は。

高齢者支援班主査 本人に判断能力なく親族が見つからない場合、もしくは親族から一切縁を切るという返答があった場合、町長が申立人になって裁判所に申し立てるものである。年々増加傾向にあり、町の負担も大きくなっている。

財務課

入札システムは健全か

今野章委員 一般競争入札やプロポーザル方式で1社だけという場合があるが、入札監視委員会での議論はあったのか。

財務課長 合否の判断基準を明確にするようにとの意見があった。

阿部幸夫委員 避難所等の電気工作物の保守点検はどうしているのか。

財務課長 以前はそれぞれの所管課で行っていたが、29年度からは財務課でまとめて行っている。

高橋幸彦委員 公用車の管理は大丈夫か。

財政班長 公用車のほとんどはリースである。町有車は所管課で管理台帳を作り、財政班で確認し更新している。

小幡公雄委員 固定資産台帳の整備が遅れている。

財政班長 以前の管理方法は今回の業務には使えず、スタートから1年遅れてしまった。

赤間幸夫委員 固定資産台帳の整備に専門家等の雇用は。

財政班長 固定資産台帳整備と公会計整備をコンサルタントに業務委託したが、アドバイザー等の配置等を条件に入れた。

色川晴夫委員 ふるさと納税の返礼品の見直しは。

財政班長 現在、リニューアル作業を行っており、9月15日から新しい返礼品が追加される。

阿部幸夫委員 町として納税組合を無くしていく方向なのか。

財務課長 二市三町で納税組合があるのは松島だけであるが、個々の状況に応じて対応していく。

産業観光課

今後の農業政策

太齋雅一委員 来年度から減反政策が無くなるが、町や担当課の対応は。

副町長 行政だけでなく、JAや担い手、後継者等も含め方向性を決めて農業政策を進めていく。



賑わう「まつ市の」

高橋利典委員 松島町起業家・高齢者活躍の場創生事業の土地の選定は。

産業振興班長 農業委員が地元を回り、土地所有者の了解をもらい選定している。

色川晴夫委員 勤労者生活安定資金貸付金は何年も実績がないが。

産業振興班長 昨年二市三町で検討を行ったが、今後は金融機関とも相談し、借りやすい制度にしたい。

菅野良雄委員 勤労者生活安定資金貸付金については、監査の中で何回も

繰り返し指摘しているが。

産業観光課長 原資が県の資金であり、制度上どうしても続けなければならぬ。融資の対象や、償還年数の延長が決められず二市三町でまとまらなかった。新年度予算での検討課題である。

櫻井靖委員 まつの市はイベントと共催してはどうか。

産業観光課長 確かにイベントと一緒に開催すれば集客も増える。次年度の計画で検討する。

阿部幸夫委員 転作の特例野菜が30・6haもあるが。

産業振興班長 町独自の営農指導員や、JAの指導員が町内を巡回しており、自家消費や贈答用でなく、直売や契約野菜の作付けを指導している。

今野章委員 炭焼き窯の今後の利用方法は。

産業観光課長 炭焼きの技術の継承問題もあるのですが、これまで以上に積極的に募集していく。

松島湾・グアランド構想と松島湾サイクルツーリズムシンポジウム

高橋利典委員 三市三町で温度差があるのでないか。

副町長 副市長・副町長で情報交換を行い、その後、県が事務局となって担当課レベルで温度差をなくす努力をしている。

色川晴夫委員 松島湾サイクルツーリングシンポジウムでどのような議論があったのか。

産業観光課長 ツール・ド・東北との関係でシンポジウムが開催された。松島には適した駐輪場が無く、国道45号の交通量の問題もあり、今後の検討課題である。

太齋雅一委員 パノラマハウスの経費削減策は。

産業観光課長 1階交流スペースの有効活用や、他の公共施設と維持管理業務の合併発注等で経費削減を行っていく。

観瀾亭等特別会計

福浦島の維持管理は

今野章委員 福浦島の維持管理はどうなっているのか。

観光班長 公衆トイレの清掃や雑草の刈り払い等も全て県の公園管理事務所で行っている。

高橋利典委員 博物館の入場者を増やす工夫を。

観光班長 教育委員会の学芸員と連携し、テーマを変えて展示している。
産業観光課長 建物自体を改修するような財源がない。内装や展示ケース等を工夫していきたい。

町民福祉課

マイナンバーカードの交付状況は

今野章委員 マイナンバーカードは、総務省の見込みどおり増加傾向にあるのか。

町民サービス班長 マイナンバーカードは、ICチップを利用して今後幅広く使う予定であり、申請件数が増えると思われている。松島町の申請者は平成29年8月末現在で10・92%で県内上位の交付率になっている。

小幡公雄委員 役場の窓口で、身内の危篤を知らせたいので住所を調べたいと要望したが、「対応できない」とのことだった。緊急事態の場合、代理で電話することは出来ないのか。

町民サービス班長 法律に基づき、戸籍は直系の方、住民票は同じ世帯の方であれば出せるが、それ以外の方は出来ない。また、代理でお知らせすることはやっていない。

赤間幸夫委員 巡回心理相談講師はどこからの派遣で、どういった内容なのか。

福祉班長 県の事業で、言語聴覚士、臨床心理士が各保育所や幼稚園を巡回し、気になる子どもとどう接するかや保育士・幼稚園教諭の悩みに対して、適切なアドバイスをしている。

櫻井靖委員 民生委員のなり手がいないようだが、町としての対策は。

福祉班長 40名が定員だが現在1名欠員が生じている。区長等からの推薦や情報をもとに、個別に訪問し、お願いしているが欠員のままになっている。

今野章委員 心身障害者医療費助成は、他の医療費と同じような形で、窓口負担なしにならないのか。

福祉班長 乳幼児医療は、窓口負担なしでやっている。障害者の心身の医療助成についても、今後、県や他の町と打ち合わせ、研究していきたい。



赤間幸夫委員 外国人登録を行う際、日本語を理解されない方もいると思うがその対応は。また、どういった国の方が多いのか。

町民サービス班長 通訳も一緒に来るケースが多いので、言葉の問題で特にトラブルになるということはない。平成28年現在松島に住んでいる外国人は、韓国11名、フィリピン8名、中国6名、パキスタン4名、ロシア4名、タイ2名、アメリカ2名、台湾2名、ケニア1名、合計で40名である。



松島博物館

建設課

今野章委員 松島高校周辺の避難道路整備事業完成後の安全対策はどうなっているか。

建設課長 可能なところは歩道をつけ、道幅が狭いところは路面表示等で安全対策を考える。

阿部幸夫委員 地域で草刈りを行う時、刃は提供されているが、燃料も提供できないか。

建設課長 資材や機材、燃料はできる限り町のほうから出していきたい。また、地域によっては除草剤も手当たしたい。

高橋幸彦委員 「ごみゼロ」などで草刈機材を使ってケガをしたとき保険の適用になるのか。

建設課長 町で保険に入っているので、ケガの対応は大丈夫だと思っている。

後藤良郎委員 地デジの難視聴は、災害が起きたときに必要な情報が得られないのでは困る。どう考えているか。

管理班長 現地を確認しながら、個人負担になる部分もあるので、個別に相談していきながら進めたい。

公園の遊具は安全か

阿部幸夫委員 公園の遊具の点検をし、安全であると町民にどのように知らしめているのか。

管理班長 点検が終わった箇所には、「どんぐり松ちゃん」の絵を描いた「点検済」のステッカーを貼っている。

櫻井靖委員 高城駅周辺の駐輪場の整備はどのように考えているか。

建設課長 復興交付金事業の避難道路整備の中で、駐輪できるスペースを確保していきたい。

赤間幸夫委員 融雪剤は、使わない年度でも備えとして確保しなければならぬのか。

建設課長 町民の声に即応性を持って対応するため、例年どおり備えをしている。



遊具点検済ステッカー

**水道事業所
下水道事業特別会計**

使用料滞納の徴収は

赤間幸夫委員 一般管理費、役務費の中に電話機消毒等として285万円の計上があるが、その具体的な内容は。

施設班長 電話機の清掃及び受け口部分の交換のほか、雨水ポンプ場のごみ処理、下水道汚水管の詰り清掃、脱水ケーキ処分に係る岩手県への環境保全協力金が含まれている。

高橋幸彦委員 一般管理費、需用費で1400万円ほどの不用額が計上されているが、その理由は。

施設班長 不用額には、雨水ポンプ場などの電気料が含まれ、雨の量が少なければ電気料に不用額が生じる。また、修繕料では、現在、浄化センターの長寿命化事業を進めており、事業の振り分けで修繕料が減ったためである。

今野章委員 負担金交付金で不用額が186万円であるが、見通しがあつての計上だったのか。

施設班長 高城川左岸地区で町道から本管が引き込めない場所の共同排水事業を進めているが、未整備地区へ即応できるよう毎年予算計上している。

色川晴夫委員 料金滞納で移転先不明などの場合の徴収手続きは。

水道事業所副所長 滞納の相手方を特定するため調査・確認を行い、転居先に配達証明つき郵便等で納付書を再度送付する対応を取っている。今回の不納欠損は、配達証明を出しても郵便局から返された案件がほとんどで、アパートなどが大半である。



松島浄化センター

水道事業会計

資本金組み入れと
剰余金の関係は

阿部幸夫委員 資本金組み入れ額1728万円ほどあるが、組み入れのルールはあるか。また、剰余金であれば値下げの考えは。

水道事業所副所長 資本金組み入れは、新会計基準適用により、以前のルールは撤廃され、議会の議決によることとなる。剰余金については、いま二子屋浄水場を建設しており、除却費等にあっていきたい。

教育委員会

にかほ市との連携、
学力向上は

今野章委員 学校の休業日、教諭の時間外勤務の資料を見ると約半数が80時間を超え、中には200時間に迫る方もいる。今後の対策は。

教育長 中学校の部活動は土日のいずれかと、月曜日は原則休みにするなどの改善案が出ている。また、教育委員会としては会議等の精選、校務分掌の負担軽減を考えた。子供たちの負担減も考え進めたい。

高橋利典委員 にかほ市との連携など学力向上のための研修会を実施し、学校教育が行われているが、松島のレベルは。

教育長 本年度全国学力状況調査が行われ、結果、中学校はすべての面で全国レベルを超えた。小学校は残念ながら2〜5ポイント全国レベルより低くなっている。

にかほ市から学んだ影響は大で、画期的な授業

のあり方である。また指導力向上プログラムで少しずつその成果があらわれていると考える。

色川晴夫委員 英語弁論大会や産業観光課のごどもも英語ガイド事業は、英語力を身に付ける手助けと、自信につながると思う。取り組みに対する意気込みを聞きたい。

教育長 今後、英語は子どもたちに必要なツールになる。幼稚園でも英語活動を充実させており、子どもたちは英語になれる親しんでいる。期待に応えられるようにしたい。

赤間幸夫委員 食物アレルギー対応の生徒が37名ほどいる。給食の一部停止、詳細献立の提供、全部停止などの対応は。

教育長 アレルギー対応の除去食は実施しておらず、保護者に献立表を渡し、お子さん、先生とで協議し対応している。全面停止は弁当持参で、学校、保護者、給食センターの栄養士を含め連携して行っている。

食中毒への注意喚起

色川晴夫委員 食中毒が多くなる時期だが、給食センターの従事者に対する注意喚起等はどうしているか。また、食中毒等の事故が発生した場合の対応は。

学校給食センター所長 月に2回検便を実施し、保健所等の指導と衛生管理マニュアルにそった徹底した手洗い、温度管理、給食の食缶等の消毒などで対応している。また、契約書で故意、過失等の瑕疵を定めており、事業者には瑕疵責任がない場合、町の全国町村会総合賠償補償保険制度で対応することになる。

櫻井靖委員 文化観光交流館費の委託料に、指定管理料2000万円余りと他に350万円余りがある。草刈り、清掃、樹木剪定など指定管理料との関係は。

中央公民館長 平成27年の10月から指定管理となり5年間の契約となっている。27年度契約前に町で実施していた清掃、可動席及び音響設備の保守点検は、指定管理者側で支出している。他の12件は町の支出である

後藤良郎委員 勤労青年ホームで実施しているパソコン講座の受講者の感想等は。

中央公民館長 年齢層としては50代から80代までが多く参加している。初めてのチャレンジでテキストについていけないケースや反対に熱意な意欲の方など、今後もフォローが必要と考えている。



勤労青少年ホームのITルーム

一般会計決算

反対

今野 章 議員

長期総合計画は、意欲的な目標設定とはいえず、福祉など現状追認ではサービスの向上は期待できない。「能力と業績評価」を中心とする人事評価制度は、公務員の仕事に成果主義を持ち込み、住民奉仕の意欲をなくす。入札では、1社入札も多く透明性や公平性、競争性の確保が必要。学校教諭の勤務実態は、月80時間を超え働くケースがある。質の高い教育へ負担軽減が必要である。障がい者福祉では、扶助費の給付が一部償還払い方式だが現物給付とすべき。「義務教育は無償」の考え方で就学支援の充実や校納金・学校給食の負担軽減を。さらに、保育士の確保対策、避難道路整備の進捗による安全確保、駅前駐輪場の放置自転車の処分、防災無線が聞こえないなど防災での情報難民をなくす努力が求められる。

賛成

櫻井 靖 議員

平成28年度の一般会計は、櫻井町長が町長となつての初めての予算である。厳しい財政状況にありながら、近隣市町に先駆け「子ども医療費助成」の18才までの拡大と所得制限の撤廃を実現したことや、観光客の動態や消費行動について客観的に調査、分析を行ったこと、避難施設、備蓄倉庫等の建設工事がほぼ完成し、安心安全なまちづくりが着実に進んでいることなど、町長が掲げる5つの公約「子育て環境と教育の充実」「観光事業での活性化」「企業誘致で地域産業の活性化」「震災からの復興の加速化」「定住する魅力あるまちづくり」が、一つ一つ住民のために具現化されていることから賛成とする。

後期高齢者医療特別会計決算

反対

今野 章 議員

この制度は、収入がなくても75歳以上の全員に保険料が課され、2年毎に保険料が見直される。75歳以上の人口と医療費が増加するほど保険料が上昇する仕組みで、これは高齢者の生活実態を無視し、その能力を超えた負担を求める仕組みでもある。これまで負担が大きすぎると低所得世帯を中心に激変緩和の特例や負担軽減措置等が講じられてきたが、今後これらの軽減措置が段階的に廃止され、その影響は加入者の約半数に及ぶ。高齢者の生活は、今後さらなる医療費の負担増や年金削減、介護からの締め出しや消費税増税などが控えている。高齢者に我慢と犠牲を強いる医療制度は直ちに廃止し、安心して医療を受けられる制度設計とすべきである。

賛成

赤間 幸夫 議員

この制度は、増大する医療費を安定的に賄い、高齢者が安心して医療を受けられるようにするために、創設され、現在に至っている。都道府県すべての市町村が加入し、後期高齢者医療広域連合が運営主体となり、市町村は保険料徴収、各種申請や届け出の事務を行っている実態にある。本町の被保険者数は、対前年度比で49人増の2877人であり、歳入総額は1億9203万円、保険料の99.5%の収入率と繰入金とで収入の大半を占めている。また、歳出総額は、1億9172万円、その主なものは医療広域連合納付金と事務費で、実質収支は黒字である。本町は、年々高齢者が増えることが予測され、この制度の恩恵は計り知れないこと、決算は適正に処理されていることから、賛成とする。

国民健康保険 特別会計決算

反対

今野 章
議員

国保加入世帯は減少が続き、高齢化が進展、約半数が年金生活者と推定できる。同時に、加入世帯の55・4%が法定軽減世帯で、この軽減を受けた世帯でなお保険税の滞納が生まれている。国保税の滞納繰越額は、現年課税額の46・6%にもなる。さらに28年度は2300万余円の不納欠損処理と税負担が重いと言わざるを得ない。この状況から、国保がいかに脆弱な基盤にあるか、公費負担によって支えなければ成り立たない制度であるかが分かる。このため国は、国保の低所得者対策として財政支援を措置している。また町の財政調整基金は約2億3300万円にもなり、町は、これらの財源を活用し重過ぎる国保税の引下げを行うべきであった。

討論・現地調査

決算審査特別委員会

現地調査

9月6日に決算審査特別委員会現地調査を行いました。

松島防災センター



松島運動公園備蓄倉庫



磯崎避難所



銭神漁港災害復旧工事



名籠漁港災害復旧工事



その他
町道根廻・磯崎線避難道路整備工事
古浦漁港災害復旧工事

議会は進言する

町への意見・要望

〔総務課所管〕

○防災行政無線の改善と情報提供の在り方について

防災行政無線は、設置当初より町民から放送内容の聞こえにくさについて苦情が寄せられているが、未だに難聴区域が存在し改善されない面がある。

このことから、防災行政無線に係る施設保守点検の徹底と屋外拡声支局の増設、戸別受信機の対応とともに、近隣市町との防災連携なども視野に入れた施策展開を望む。

〔企画調整課所管〕

○広報まつしまの編集について

町民は、町の動きや行政サービス情報を主に広報紙から得ているが、町民の広報紙に対する評価は決して良好なものとは言えない。今後、町民によるモニター制度等も取り入れ、見やすく、分かりやすい広報紙となるよう努力されたい。

また、町民への情報発信策としてホームページを開設しているが、記事やお知らせ内容が、見づらい、分かりづらいといった意見も聴かれ、早急な改善について検討されたい。

〔産業観光課所管〕

○炭焼き窯の活用について

炭焼き窯は、その維持管理に貴重な財源を割いている状況となっている。町民に活かされる施設となるよう、早急な活用策を検討されたい。

○パノラマハウス及び周辺観光財産の活用について

パノラマハウスは、完成から2年近く経過したが、その維持に係る経費も高額となっている。2階部分は民間に貸し出ししているものの、1階の多目的スペースや周辺の観光スポ

ットにおいては、有効な活用がされていない。

公園としてその利用にはさまざまな制約があるが、観光シーズンやイベントの開催時の賑わいの場の創出や公園内の観光財産の利活用を図り、使用料収入等の確保に繋がる施策を望む。

〔建設課所管〕

○避難道路等における交通安全対策について

町道磯崎・高城線避難道路や西柳・迎山線避難道路整備に代表される数多くの町道の改良整備事業が完了しているが、それぞれの路線では交通安全対策が不十分と思える箇所が散見している。標識の設置や道路上の表示をはじめ、見通しの確保、スピードの抑制策も加味した交通安全対策を望む。

○駅等における駐輪場の管理について

松島駅前駐輪場をはじめ、高城町駅、愛宕駅、品井沼駅等に、不法投棄や放置され引き取り手のない自転車がある。現地の実態調査を行うとともに、速やかなる駐輪場等の改善に努められたい。

〔教育委員会所管〕

○食中毒等への予防と対応策について

全国的にスーパーなどでの販売や製造過程で食中毒の発生が相次いでいる。飲食物を調理・提供する学校給食センターにおいて、その予防策とともに、万が一、町の責任による事故が発生した場合における賠償責任等の対応について万全を期されたい。

議案 審議

いよいよ 桜渡戸分館建設へ

松島町個人情報保護 条例の一部改正

主な内容

個人情報の管理に関する安全性の向上を目的として、個人情報及び特に取り扱いに注意が必要な情報の基準を明確にすることで、個人情報の可否について従来よりも容易かつ客観的に判断できるように改正を行うもの。

質疑

今野章議員 町で保有している個人情報の種類と件数はどれくらいか。

総務課長 個人識別符号を使用する事務数が247件、要配慮個人情報を使用する事務数が217件である。

赤間幸夫議員 情報の扱いについて庁舎内に組織を設置して対処していく考え方はあるのか。

総務課長 明確な組織はないが、総務課、町民福祉課、企画調整課の3課が連携をとりながら行っている。

賛成全員・可決

松島町町税条例の一部改正

主な内容

個人の町民税の所得割の非課税の範囲等における控除対象配偶者を、同一生計配偶者に改め、また緑地保全・緑地推進法人が設置管理する市民緑地の用に供する土地について、固定資産税及び都市計画税の特例措置を規定するもの。

質疑

今野章議員 老人配偶者控除についてはどうなるのか。

財務課長 これまで同様、若干控除額が多くなる。

色川晴夫議員 今回の改正において控除対象配偶者の影響はどれくらいか。

財務課長 配偶者特別控除が33万円の上限が90万円までに引き上がるのに伴い145人ぐらい増える。

賛成全員・可決

物品売買契約の締結 〔消防小型動力ポンプ付 積載車購入〕

主な内容

平成14年に配備した消防小型動力ポンプ付積載車の使用年数が15年を経過し、老朽化が著しいことから、更新を図るものであり、去る8月17日に入札に付し、物品売買契約を締結するもの。

○契約金額

820万8千円

○契約の相手先

(株)共栄防災

質疑

赤間幸夫議員 経過年数と走行キロ数を伺う。

危機管理監 15年を経過しており、走行距離は2988キロである。

今野章議員 今後の消防小型動力ポンプ付積載車の更新計画はどうなっているか。

危機管理監 来年度、第5分団の車両を予定している。

高橋利典議員 消防自動車の売買に当たっての下

取り契約は結んでいるのか。

危機管理監 結んでいない。

和解及び損害賠償の 額の決定

主な内容

和解及び損害賠償の額の決定について、議会の議決を求める。

▼事故の概要

平成29年7月25日、強風のためクリの木が倒れ、県道小牛田松島線を仙台方面に走行中の車両のフロントガラス付近を直撃し、車両の前方広範囲が損傷したもの。

○損害賠償金

310万4744円

質疑

色川晴夫議員 町道の危険箇所については早めに対応すべきではないか。

町長 町営バス路線の危険箇所や木が生い茂ってきているようなところは防災班の方で把握させている。

また、民家の近くに町有地があり松枯れの木があった場合には、森林組合等において伐倒するなどの対応をしている。

賛成全員・可決

議員提案
松島町議会委員会条例の一部改正

主な内容

これまでの第1常任委員会を総務経済常任委員会に第2常任委員会を教育民生常任委員会に名称を改め、新たに14人で構成する広報広聴常任委員会を設置する。公布の日から施行し、施行後最初に行われる一般選挙から適用する。

賛成全員・可決

平成29年度一般会計補正予算(第3号)

主な内容

平成28年度決算に伴う繰越金等について補正するものであり、主な事業は次のとおり。

●地域公共交通網形成計画策定業務委託 700万円

●桜渡戸分館建設事業 3130万円

●東日本大震災復興交付金基金積立金 26億4942万円

●合併処理浄化槽設置整備事業 248万4千円

●併処理浄化槽設置整備事業 248万4千円

●経営体育成支援事業 275万3千円

●農道北小泉・幡谷線舗装補修工事 350万円

●松島公園占用物件移設撤去工事 500万円

質疑

色川晴夫議員

ドクターヘリのランデブーポイントサイン設置は、全市町村が対象になるのか、町からの4カ所の指定なのか。

危機管理監

宮城県内全市町村を対象に県は、400カ所をめどに設置することになる。また、ランデブーポイントの設置要望等は、消防事務組合が各市町村を下見して、宮城県と航空会社が現場を決定するという流れになる。

今野章議員

地域交通網を新たに構築すべきだが、現時点で町営バス一辺倒とかデマンド一辺倒とかではなく、本来に抜本的に新たな交通体系をつくるということ、理解しているのか。

総務課長

利用者ニーズも含め、抜本的に見直す。従って、バス一辺倒とかデマンドだけとか、またハイブリッドでやっていくとかは、検討していない。

高橋幸彦議員

桜渡戸分館の建設工事が、被災地域交流拠点施設整備事業費補助金を活用して行うが、震災から時間が経ち過ぎていないのか。

総務課長

津波被災地域ではなく補助要件に当てはまらず、門前払いであったが、桜渡戸地区の防災拠点施設になることや近年のゲリラ豪雨などにより地区が孤立したことで、老健施設からの避難場所になることなど、理解されるまでに時間を要した。

菅野良雄議員

長寿社会対策基金に繰替運用を規定していないのは、どういう理由なのか。

副町長・財務課長

目的以外の使い回しをすることがない基金であるとの理解であったが、時間の経過と共に県の指導も変

わっていることから今後、検討させていただく。

赤間幸夫議員

農道北小泉・幡谷線は、震災復興のために大型トラックの往来が多く、傷みが激しく簡易舗装では持たないとして、今後は耐久性と恒久性を加味したものとしていくとの考えだが、町内の町道全般に当てはめるのか。

町長

本町と同様に震災にあった近隣市町も、安全・安心の確保の点からも、現場により多少財源を投入しても耐久性のある道路にしていく考えである。

賛成全員・可決

平成29年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

主な内容

平成28年度決算に伴う一般会計繰出金及び繰越金並びに平成28年度療養給付費等交付金の確定による返還金について補正するもの。

賛成全員・可決

平成29年度松島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

主な内容

平成28年度決算に伴う一般会計繰出金及び繰越金について補正するもの。

賛成全員・可決

平成29年度松島町介護保険特別会計補正予算(第2号)

主な内容

平成28年度決算に伴う一般会計繰出金及び繰越金並びに平成28年度地域支援事業交付金の確定による支払い基金への返還金について補正するもの。

賛成全員・可決

平成29年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算(第2号)

主な内容

平成28年度決算に伴う繰越金について補正し、財政調整基金繰入金を減額するもの。

賛成全員・可決

平成29年度松島町松島区外区有財産特別会計補正予算(第1号)

主な内容

松島区及び高城区の平成28年度決算に伴う繰越金等について補正し、松島区及び高城区の区有財産へそれぞれ積み立てするもの。

質疑

色川晴夫議員

松島区の土地の貸付は、どのような内容か。

財務課長

浪打浜雨水ポンプ場の資材置き場として三十列の敷地1278㎡を貸付している。

賛成全員・可決

平成29年度松島町下水道事業特別会計補正予算(第2号)

主な内容

平成28年度決算に伴う一般会計繰出金及び繰越金並びに長田雨水ポンプ場整備に関連して、雨水管渠整備を実施する経費を補正するもの。

賛成全員・可決

質疑

赤間幸夫議員

工事ボ

リウム等から、工期的に翌年度繰り越しを見込むという提案理由は早過ぎるのではないか。

水道事業所長

事業団発

注部分の放流渠と町発注部分の管渠のマンホールの接続部分が、来年の夏までかかり工事が進まない状況であることや、工事金額でも議会の議決を要することなどを考慮し繰り越しを見込んでい

高橋幸彦議員

通行止め

に大体どれぐらいの期間を見ているのか。

水道事業所長

3カ月く

らいで終わると思うが、詳細が決まったら付近の住民に周知していきたい。

賛成全員・可決

陳情審査2件

宮城県国民健康保険運営方針案に係る意見書採択についての陳情

第2常任委員会報告

《趣旨》

2018年4月からの国民健康保険都道府県単位化にむけて、いまだに試算内容が明らかにされていない。具体的な数字が出されず何の説明もないまま国民健康保険事業方針だけが決定されようとしている。

事業費納付金・標準保険料試算を

就学援助の拡充と運用の見直しを求める陳情

第2常任委員会報告

《趣旨》

長らく続く景気低迷の経済状況下において、企業の労働コスト削減及び弾力化のニーズにより、非正規雇用者が増加したことに伴い貧困・格差が拡大している。このことにより児童生徒にとって、本来、夢と希望をもたらす入学やかけがえのない行事が、「ランドセルが買えない」「学生服が買えない」「修学旅行費が払えない」など、心を痛める事態になっている。松島町の就学援助について、左記の3項目の改善を求める。

記

1 通知の趣旨に沿って、新入学児童生徒学用品費等を増額し、入学

宮城県国民健康保険運営方針案に関する意見書

議員提案 意見書1件

《趣旨》

国が示した2018年度(平成30年度)からの国民健康の都道府県化に伴い、宮城県でも制度設計の検討が進められている。本年4月に示された運営方針案では、保険料(税)統一や、市町村の一般会計からの法定外繰り入れ解消などの方向性が示された。

しかし、宮城県は事業者納付金・標準保険料試算を明らかにせず、公表を来年年明けとし、住民への説明・理解をないがしろにしている。

また、国民健康保険は、各市町村が低所得者の保険料を軽減するなど、地域の実情に応じて制度を定めてきたものである。市町村からの法定外繰り入れをなくせば、これまで低所得者の保険料軽減や住民の健康増進に努力してきた市町村ほど保険料の大幅な値上げとなる恐れがある。

よつて、宮城県においては、左記の事項を実施すること強く要望する。

記

- 1 宮城県は、事業費納付金・標準保険料試算を一刻も早く公表すること。
 - 2 2018年度以降も、現在以上に保険料(税)を上げないこと。
 - 3 準備が整わないまま拙速な実施はせず、場合によっては延期も検討すること。
 - 4 国に対し、負担感が強い保険料(税)の是正、国民健康保険の安定的な運営のため、十分な財政措置を検討するよう求めること。
- 以上、意見書を提出する。

【提出先】宮城県知事

賛成全員・可決

平成29年 第1回
臨時議会
8月1日(火)

松島浄化センターの 長寿命化をめざす

臨時議会

専決処分

和解及び損害賠償の額

主な内容

平成29年5月13日、宅配夕食サービス事業の業務中において、確認不十分により、相手側の軽自動車に衝突し、車両修理費等として相手方に対し、損害賠償額25万6398円を支払うことで和解が成立し、平成29年7月5日専決処分した。

質疑

阿部幸夫議員

一般的に損保会社は、相手方の車の評価額を上回る損害賠償は出さないが、今回の修理代金はどうなっているのか。

財務課長

修理代金は全額賠償となっている。現在、500万円の対物保険に入っているため、その範囲内であれば基本的には支払い可能である。

今野章議員

今回運転していた職員は、正規職員か非正規職員か。また安全運転上の指導しているのか。

健康長寿課長

臨時職員である。安全運転への指導は、社会福祉協議会と事故処理のマニュアル等の確認を行い、安全運転で運行出来るよう申し合せをした。

また、5月18日には塩釜警察の交通課を招いて全員で交通安全講習を行った。

工事委託に関する協定の締結

〔松島浄化センター長寿命化改築工事〕

主な内容

社会資本整備総合交付金事業に係る松島浄化センター長寿命化改築工事を、日本下水道事業団と工事委託協定を締結するものである。

工事内容は、汚泥棟のかき寄せ機及び攪拌機の更新。管理棟の汚泥処理用水設備コントロールセンター及び電気盤の更新を行う。

質疑

赤間幸夫議員

処理能力は1日当り最大で8775m³となっているが、平成36年まで変わらぬ計画なのか。

水道事業所長

処理能力は全体計画に変更はなくこれまでどおり3施設であり、これ以上の増減はない。

今野章議員

下水道事業団と協定を締結することによって、その際発生する管理費の内訳は。

水道事業所長

管理諸費は協定額2億6700万円の内、1417万2千円となる。

色川晴夫議員

事業団が事業者を選定し、入札をかけた場合に発生すると思われる差金はどうか。

水道事業所長

請負差金が出た場合最終的に全部整理し、町と事業団で変更協定を行う。

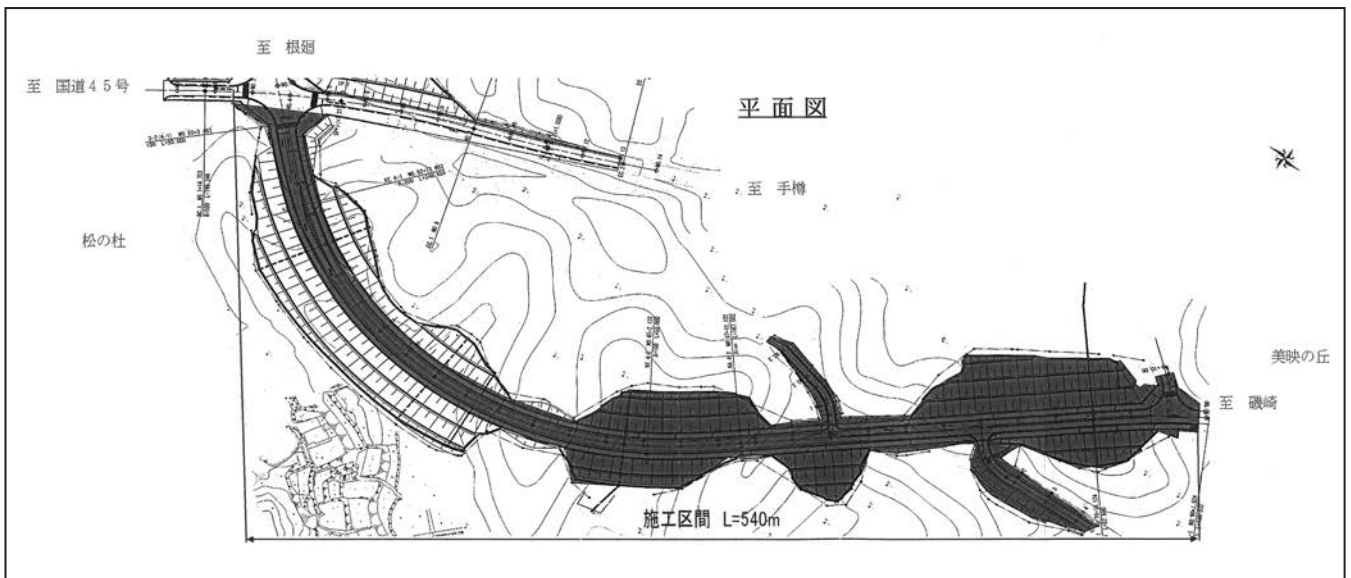
賛成全員・可決

工事請負契約の締結

〔町道根廻・磯崎線道路整備工事〕

主な内容

社会資本整備総合交付金事業として実施する町道根廻・磯崎線道路整備工事に関するもので、施行延長600mの道路改良工事を行う。工期は平成30年3月30日である。



町道根廻・磯崎線道路整備工事 平面図

質疑

阿部幸夫議員 今回施工

分の道路での最高の勾配は何%か、また、カーブは半径何mで設計されているのか。

建設課長 上り坂・下り坂ともに最高の勾配は5%となっている。また、カーブは半径200mと設計している。

赤間幸夫議員 最大で5%勾配があるが凍結防止対策はどうなるか。また、街路灯は2基設置される予定であるが少ないのではないか。

建設課長 勾配が6%以上であれば検討するが未満であるので、滑り止め対策は実施しない。

街路灯は他に美映の丘との接続部分と、運動公園裏の備蓄倉庫の出入口付近を考えている。

賛成全員 可決

工事請負契約の変更 [名籠漁港防潮堤 災害復旧工事]

主な内容

防潮堤天端からの落下による事故防止のため、転落防止柵全長178mの増工、陸間の操作盤等の設備を交換するもの。変更額814万1040円の増。

賛成全員 可決

平成29年度松島町 一般会計補正予算 (第2号)

主な内容

東日本大震災復興交付金事業第18回配分交付可能額通知により、事業等を補正するもの。
① 平成29年6月23日付で第18回配分交付可能額2743万5千円を全額積み立てる。

② 平成29年度要保護児童生徒援助費補助金における単価等の一部見直し及び平成29年度宮城県被災児童生徒就学支援事業補助金に係る単価の改正。

③ 手樽地区農山漁村地域復興基盤総合整備事業の実施に伴い、必要となる埋蔵文化財包蔵地確認調査に要する費用の補正。

質疑

高橋利典議員 手樽地区

基盤整備事業の中で埋蔵文化財包蔵地確認調査及び発掘調査事業も並行して実施されるのか。

町長 基盤整備事業と並行して、発掘調査事業も行っていく。

色川晴夫議員 今回の発掘

に関して、どのぐらいの時代まで発掘するのか。
生涯学習班長 今回は13遺跡を調査し、土器だけではなく、館跡も入るので、時代は多岐にわたる。

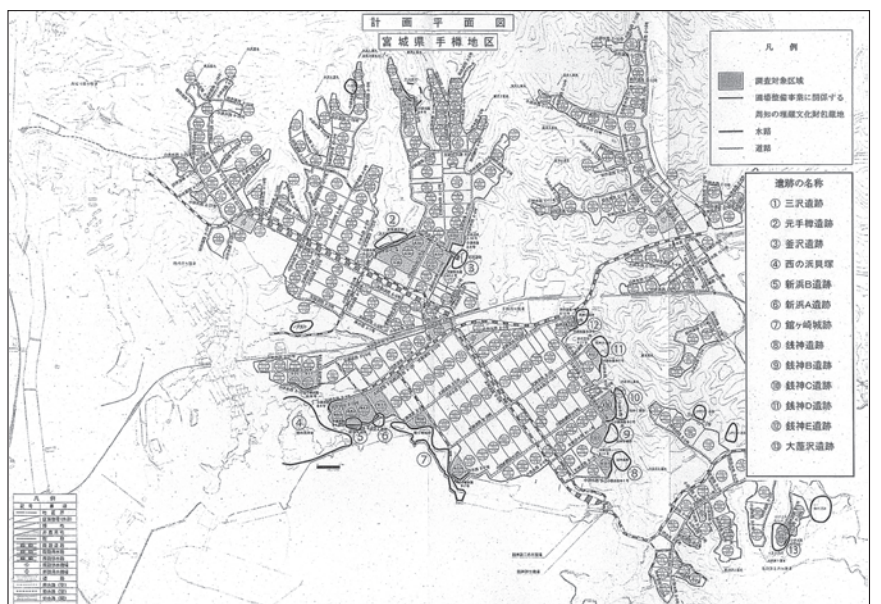
賛成全員 可決

人事

松島町固定資産評価審査委員会
補欠委員……………同意

○安部新也 62歳

(松島町手樽)



手樽地区遺跡の名称

平成29年第1回松島町議会臨時会 議案採決結果

全：賛成全員（可決・採択） 多：賛成多数（可決・採択） 否：賛成少数（否決・不採択）

○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席

※片山正弘議員は議長のため採決に加わりません。

議案番号	議案名	議決 月日	採決 結果	澁谷	赤間	櫻井	後藤	小幡	高橋	今野	太齋	色川	菅野	高橋	阿部	片山	賛	反
				秀夫	幸夫	靖	良郎	公雄	幸彦	章	雅一	晴夫	利典	幸夫	正弘	成	対	
報告第7号	和解及び損害賠償の額の専決処分について	8月1日	-														-	-
議案第70号	工事委託に関する協定の締結について 【松島浄化センター長寿命化改築工事委託に関する協定】	8月1日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議案第71号	工事請負契約の締結について 【町道根廻・磯崎線道路整備工事】	8月1日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議案第72号	工事請負契約の変更について 【名籠漁港防潮堤災害復旧工事】	8月1日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議案第73号	平成29年度松島町一般会計補正予算(第2号)	8月1日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	11	0
議案第74号	松島町固定資産評価審査委員会補欠委員の選任につき承認を求めることについて	8月1日	承認 (無記名投票)										-			-	11	0

平成29年第3回松島町議会定例会 議案採決結果

全：賛成全員（可決・採択） 多：賛成多数（可決・採択） 否：賛成少数（否決・不採択）

○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席

※片山正弘議員は議長のため採決に加わりません。

議案番号	議案名	議決 月日	採決 結果	澁谷	赤間	櫻井	後藤	小幡	高橋	今野	太齋	色川	菅野	高橋	阿部	片山	賛	反
				秀夫	幸夫	靖	良郎	公雄	幸彦	章	雅一	晴夫	利典	幸夫	正弘	成	対	
陳情第1号	宮城県国民健康保険運営方針案に係る意見書採択についての陳情	9月1日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		12	-
陳情第2号	就学援助の拡充と運用の見直しを求める陳情について	9月2日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		12	-
議案第75号	松島町個人情報保護条例の一部改正について	9月4日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		12	-
議案第76号	松島町町税条例の一部改正について	9月4日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		12	-
議案第77号	物品売買契約の締結について 【消防小型動力ポンプ付積載車購入】	9月4日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		12	-
議案第78号	平成29年度松島町一般会計補正予算(第3号)について	9月4日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		12	-
議案第79号	平成29年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	9月4日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		12	-
議案第80号	平成29年度松島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	9月4日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		12	-
議案第81号	平成29年度松島町介護保険特別会計補正予算(第2号)について	9月4日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		12	-
議案第82号	平成29年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算(第2号)について	9月4日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		12	-
議案第83号	平成29年度松島町松島区外区有財産特別会計補正予算(第1号)について	9月4日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		12	-
議案第84号	平成29年度松島町下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	9月4日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		12	-
議案第85号	工事委託に関する協定の締結について 【仙石線高城町・手樽間高城こ線橋新設工事】	9月4日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		12	-
議案第86号	平成28年度松島町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	9月14日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		12	-
議案第87号	平成28年度松島町一般会計歳入歳出決算認定について	9月14日	多	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○		11	1
議案第88号	平成28年度松島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	9月14日	多	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○		11	1
議案第89号	平成28年度松島町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	9月14日	多	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○		11	1
議案第90号	平成28年度松島町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	9月14日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		12	-
議案第91号	平成28年度松島町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について	9月14日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		12	-
議案第92号	平成28年度松島町観瀾亭等特別会計歳入歳出決算認定について	9月14日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		12	-
議案第93号	平成28年度松島町松島区外区有財産特別会計歳入歳出決算認定について	9月14日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		12	-
議案第94号	平成28年度松島町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	9月14日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		12	-
議案第95号	平成28年度松島町水道事業会計決算認定について	9月14日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		12	-
議案第96号	和解及び損害賠償の額の決定について	9月15日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		12	-
議員提案第5号	松島町議会委員会条例の一部改正について	9月15日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		12	-
議員提案第6号	宮城県国民健康保険運営方針案に係る意見書について	9月15日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		12	-

採決表

第1常任委員会所管事務調査報告

地域防災の現状と課題について

東日本大震災から6年5ヶ月が経過した。これまで、本町では被災者の生活再建を第一とした住宅再建支援や災害公営住宅の整備をはじめ、町民及び本町来訪者の安心・安全の推進に向けた復旧・復興の諸事業を実施してきた結果、避難施設、防潮堤、漁港整備等の防災復興関連施設の整備が進んでいる。

今後、大震災の経験を踏まえ、災害に強いまちづくりをどのように進めていくか、これまでに完成した防災関連施設をどのように活用していくか等取り組んでいく必要がある。より安全で安心なまちづくりのためにも、既成概念にとらわれることなく、さまざまな見方や考え方が大切であると考え、防災対策に真剣に取り組んでいる先進自治体を訪問、視察研修を行い、松島町の地域防災に

ついて、確かなものにするためにはどうあるべきかを検証することを目的に視察研修・調査を行ったものである。

◎調査の内容

【町の地域防災に対する考え方及び取り組みについての意見聴取】

町は、「安心・安全の復旧・復興と創造的なまちづくり」そして「宮城・東北を牽引する観光と地域産業によるまちづくり」を政策目標として、その実現に向け長期総合計画に掲げる主要施策と一体的に展開し、復興施策の推進を図っていくとしている。

地域防災に対する取り組み方は、東日本大震災の教訓から、災害の被害を最小化する「減災」を基本に、「松島町地域防災計画」に基づき推進していくこととしている。なお、見直しにあたって

は、住民の意見、町職員へのアンケート、そして町議会からの提言等を参考としている。

◎先進自治体の取り組み

先進自治体の取り組みについて、次の自治体を視察研修した。

和歌山県 広川町
 三重県 伊勢市防災センター



◎まとめ

当委員会では、松島町の地域防災の現状と課題についてこれまで調査を進めてきた。地域防災計画について町は、「住民の生命の保護と財産への被害の最小化」を前提に、「世代継続する防災

まちづくり」を基本理念としている。地域活動の活性化と地域防災力の強化を図るため、親から子、子から孫へと継続される防災のまちづくりを目指す体制を整えることとしている。また、見直しが行われた「松島町地域防災計画」は、東日本大震災の教訓を踏まえ、これまでの防災対策の一層の強化を図るとしている。

松島町は、これまで数多くの避難道路や避難施設の整備事業、戸別受信機の設置、安全・安心メールの配信、防災マップや避難所運営マニュアルの作成、自主防災組織の組織率拡大など、防災対策は確実に進んでい

る。しかしながら、整備された施設を今後どのように活用していくか、課題は多いと思われる。より安全で安心なまちづくりのためには、既成概念にとらわれることなく、多様な見方、考え方が必要である。

今回、視察研修を行った和歌山県広川町、三重県、そして伊勢市防災センターから、いくつか参考とすべき点があったので記しておきたい。

①防災の日を定め、全町挙げての防災訓練等を行い、防災に係る連携を整えること。

②まつり等のイベントの機会を捉え、常に防災意識の啓蒙を図ること。

③幼稚園児などの小さい頃から毎日が防災訓練と捉えた、防災に対する意識付け。

④学校と地域防災組織合同の防災訓練実施による地域連携強化。

⑤希望者に対する防災行政無線戸別受信機の設置。



⑥出前講座（防災対策）の実施と啓発活動の推進。

⑦避難誘導灯、避難誘導標識の設置。

⑧官公署等、特に防災拠点となる施設等の集約化と高台移転。（松島消防署等）

上記の対策について、本町における防災対策と照らし合わせ、参考となるものについては検討を加えて推進を図る、あるいは取り入れていくなど、更なる防災力の向上に繋げて行くべきと考え

第2常任委員会所管事務調査報告

少子化対策について

本町は人口減少が続いており、子どもの出生数は70人／年程度にまで落ち込む状況になっている。

町の定住人口の増加や若い人に住んでもらえる町づくりの一環として、子育てしやすい環境や教育環境の充実が求められているところである。

松島町にとって、町自体の存続危機をはじめとして「少子化」がもたらす様々な影響を勘案し、本町の喫緊の課題である「少子化対策」について、先進地事例の研修を踏まえた本町の行政施策との比較を行い、課題解決の一助に委員会としての意見をまとめ、町当局に提言することとした。

◎調査の内容

(1)松島町の少子化対策

町は、「松島町教育振興基本計画」に基づき、「松島で活きて松島を

大切にし豊かな心を育てる」の基本方針のもと、町民総参加型の教育振興を推進するとしている。

この実現に向けて、幼児教育の充実、学校教育の充実、地域文化の継承と創造、生涯学習の推進及び町民総スポーツの推進を基本施策として、事業を実施している。

児童福祉では、松島町子ども・子育て会議からの「本町の幼児教育と保育環境のあり方」についての答申を踏まえ、保育施設に係る基本計画を策定し、具体的な検討を進めている。

また、少子化対策では、県の小学校入学準備支援事業補助金を活用しながら、第3子以降の小学校入学時に祝い金を支給すること、保護者の負担軽減を図っている。さらに、子育て支援に特化したホームページの運用を開始し、各種イベントや

行事の情報提供により、子育て環境の拡充に努めると共に、ファミリー・サポート・センター事業について、協力会員や依頼会員の増加を図り、より利用しやすい事業の展開を進めている。



(2)松島町子ども・子育て会議との意見交換

子ども・子育て会議と第2常任委員会との意見交換は、「幼児教育と保育環境の在り方について」であるが、支援事業計画の具現化のための施策4点を中心に意見の交換が行われた。

結果として、子育て会議は町からの諮問に対し、

答申を行うことになるが会議委員の方々が苦労を重ね策定した支援事業計画とその具現の為の施策がまとめられた。今後の幼児・保育行政施策の展開が予算編成と共に急務となっている現状を、予め議会も理解することができた。

◎先進自治体の取り組み

先進自治体の取り組みについて、次の自治体を視察研修した。

広島県 坂町
鳥根県 邑南町
岡山県 奈義町
北海道 南幌町、豊浦町

◎まとめ

少子化は人口減少、高齢化、財政難、コミュニティ形成、地域活性化など多方面にわたり、町の将来に大きく影響が及ぶことは周知の事実であり、松島町の現状は類似都市と比較しても顕著である。

町の高齢化の進行と相

反するように、少子化が急速に進行していく現状に歯止めとなる対抗手段を組織的、政策的に取組みが行われないとするならば、やがて松島町も消滅都市の仲間入りになってしまうのではないか。

当委員会は、先進自治体の取組み状況を調査・研修することで、わが町に活かせる有効な行政施策や取組み姿勢の持ち方などを研修することができた。

そこで町当局に対し次の項目について、提案するものである。

①保育環境への取組みについて

「子ども・子育て会議」からの答申も含め、本町の保育環境の整備は喫緊の課題であることを考慮し、平成31年4月開設を目的に進行管理や執行体制を行うこと。

②定住対策について

若者の定住対策が叫ばれてから久しいが、東日本大震災の影響などもあり、これらの居住対策が遅々として進んでいない。他自治体の取り組みを参考に、より良い若者

定住対策が望まれる。

③子育てガイドブックについて

子育て事業を重点事業と位置付けるのであれば、速やかに他市町の良いところを取り入れ、利用者配慮したページ構成とし、分かりやすいものとなるよう改善を望む

④子ども課の設置について

少子化対策は、行政施策の展開にあたり多課にまたがる。子育て支援事業などと合わせて子育てに係る総合支援窓口として、仮称「子ども課」を設置することを望む。



研修レポート 第1常任委員会

「地域防災の現状と課題について」

東日本大震災の経験を踏まえ整備された施設等などのように活かしていくか課題は多いと思われる。より安全安心のまちづくりのために様々な見方が必要であると考え、視察研修を行った。

和歌山県広川町

広川町は、自主防災組織の組織率は100%であり、町職員と自主防災組織の代表が定期的に集まり研修会等を実施、活性化を図っている。

また、濱口梧陵の教えをもとに津波対策が取られ、ハード面だけでなく、避難訓練等のソフト面に力を入れている。

災害は突然やってくるものであり、我々の想定を超えることが少なからずある。人的被害を最小限度にするためにも、幼い頃からの防災に対する意識付けは大変重要であることを実感した。

和歌山県串本町

串本町は、本州最南端に位置し地形的な特徴から津波到達時間が早く「南海トラフ巨大地震」等を想定し、丘陵地を造成し官公署等の高台移転等を進めている。

また、避難3原則「想定にとらわれない」「状況下で最善を尽くす」「率先避難者になる」をモットーとして毎日が避難訓練あることを意識付けて災害に備えていることがうかがえた。

また、三重県伊勢市防災センターも視察した。



和歌山県串本町 高台移転地視察

研修レポート 第2常任委員会

「施設や事業で子育てを応援」

「公設民営の『認定こども園』」

当委員会は、所管事務調査として「少子化対策」を取り上げ、本町における少子化対策の推進にあたり、先進的取り組みを行っている自治体を視察研修することで、今後の行政施策展開に対し、機会の視点から考慮できる見識の一助にする。

北海道南幌町

南幌町は、さまざまな公共・公益施設の活用や事業で子育てを応援しており、その事業施策をわかりやすいように乳幼児、小学・中学・高校、レジャー、暮らしのジャンルごとに一冊の子育てガイドにしている。

南幌町を「ふるさと」とする子どもたちの成長のため、家庭、地域、学校、行政が協業し、出来る限り事業施策を本気になって取り組んでいる様子が説明された事業内容・質疑応答から理解できた。

北海道豊浦町

豊浦町では保育所と幼稚園を一体化した町内初となる公設民営「認定こども園」が開園し、親の就労形態に関わらず、全ての子どもが共通の質の高い教育、保育や子育て支援サービスの提供が受けられる環境の整備を目指している。

わが町は、保育所の統廃合と共に保育環境の充実、安心安全で快適な保育施設整備が急務となっており、こうした先例に学ぶことで課題解決を急ぐべきである。



北海道豊浦町 認定こども園視察

研修レポート 議会運営委員会

議会活性化委員会の調査報告を基に、議会における予算決算常任委員会化、広報広聴の常任委員会化と組織運営、常任委員会の担当所管事務の編成について先進地の運営状況の視察研修を行った。

岩手県矢巾町

矢巾町議会は、予算決算の常任委員会化で、全議員が予算、決算審査内容を共有できるとしている。松島町議会は特別委員会という形で、当初予算・決算についてすでに議長を除く全員参加での審査を行っている。

議会広報広聴常任委員会では、議会広報紙の編集、発行及び情報技術の活用に関することを担当する広報分科会と議会報告会及び各種団体との意見交換会の開催に必要な企画及び調整に関することを担当する広聴分科会をおいている。

岩手県葛巻町

葛巻町議会は、議員定数を10人まで減らし、1つの常任委員会とした。

そして、平成24年の地方自治法の改正で、通年の会期制の創設や本議会における公聴会・参考人制度の導入、委員会に関する規定の簡素化などが行われたのを踏まえ、総合的に調整し「総合条例」として制定した。

松島町議会は、議会基本条例を規範とし、今回研修した議会を参考にしながら、議会改革・活性化等に努めたい。



岩手県矢巾町 議会運営視察

東日本大震災復興対策

特別委員会の中間報告

委員長 阿部幸夫

(調査事件)

震災に係る被災状況の調査及び復興に関する事項

(目的と経過)

平成25年12月20日、今後の町の復興事業・災害対策などを注意深く検証する必要性があるため新たな議会構成において東日本大震災復興対策特別委員会を設置し、調査を継続することにしたもの。

(調査の結果)

町は、大規模災害に備え、東松島市など自治体間や民間企業（仙台コカ・コーラボトリング(株)ほか）、団体（社会福祉協議会ほか）と災害支援協定の締結を行い、対策の強化と町民の安心度を高めたことは評価できる。災害廃棄物処理や災害公営住宅、避難施設、備蓄倉庫等は、ほぼ完成したが、今後の施設運営面に課題が残る。



女川原子力発電所

(今後に向けて)

東日本大震災復興交付金配分額は、第18回配分時点で約261億2000万円、全体事業における6月末の契約率は約62%であり、一日も早い復興を望む。

また、松島町地域防災計画の見直しでは、原子力発電所の再稼働に係る対応を含め、優先順位などを定め実施計画を示しながら推進されたい。今後の一層の安全安心の町づくりを期待したい。

東北放射光施設誘致調査

特別委員会の調査報告

委員長 高橋幸彦

(調査事件)

東北放射光施設誘致の調査に関する事項

(目的と経過)

東日本大震災からの復興を目的に、経済団体や国公立7大学が東北への誘致を進めている東北放射光施設について、松島町への誘致を積極的に進めるため平成26年3月20



東北放射光施設建設候補地であった場所

日、調査特別委員会を設置したもの。

また、町においても東北放射光施設誘致協議会が設立され、議会と町が一体となり誘致実現に向けた調査等を進めた。

(調査の概要)

特別委員会として放射光施設への理解を深めるため、東北大学地域連携

センターの鈴木康夫氏を講師に研修を行ったのをはじめ、兵庫県佐用町の「SPRING-8」視察、各種シンポジウムに参加した。また、国・県、関係機関への要望活動の把握、課題意識の共有に努めた。

(調査の結果)

東北放射光施設誘致については町民の関心も高かったが、今年4月11日及び12日の新聞報道のとおり誘致候補地は、仙台市青葉区の東北大学隣接地と決定した。

残念な結果となったが、誘致に取り組む中で町の経済や財政、まちづくりのあり方など、松島町の将来を考える貴重な機会となった。

6月9日の議員懇談会では、町より当該土地の新たな活用方針について報告を受けるとともに、放射光関連施設の誘致に向け関係機関への働きかけを引き続き行う考えが示された。

一部事務組合議会報告

塩釜地区消防事務組合議会

更には、斎場の利用実績は2311件で対前年比96件の増であった。

平成29年7月25日(火)、

塩釜地区消防事務組合議会第2回定例会が開催された。

行政報告では、消防事務組

合一般会計、介護認定審査事

業特別会計、障害者自立支援

審査事業特別会計、環境組合

会計の4事業について黒字決

算見込みであることが報告さ

れた。平成28年度の業務概要

については、管内での火災発

生件数は18件で、その内松島

町は3件の発生である。救急

出場件数は4409件で、そ

の内松島町は480件である。

次に、要介護認定審査状況

は、審査会開催数298回、

審査判定は8917件であり、

障害者支援区分審査状況は、

審査会開催数23回、審査判定

は237件であった。

また、し尿及び浄化槽汚泥

の搬入総量は、9967トン

で対前年比879トンの減で

今定例会の議案審査では、

承認第1号に「児童福祉法の

一部改正による養子縁組里親

の法定化及び引用条項の条項

ずれに伴う所要の改正」、議

案第7号は、新斎場移転建設

に対する調査設計業務の減

額と債務負担行為の追加補

正、議案第8号は、財産取得

として塩釜消防署に配備され

た「高規格救急自動車」の更

新、第9号は、多賀城消防署

に配備された「はしご付消防

自動車」の更新の為の財産取

得であり、いずれも採決の結

果、賛成全員で可決された。

高橋利典 議員

赤間幸夫 議員

宮城東部衛生処理組合議会

平成29年7月4日(火)、

宮城東部衛生処理組合議会第

2回定例会が開催された。

ごみの搬入状況及び使用済

小型電子機器等再資源化事業

の事業者決定、更に焼却灰・

排ガス中の放射性物質濃度及

び埋立地進出処理水・地下水・

各種敷地空間放射線量の測定

結果が基準値内もしくは不検

出である旨の報告があった。

今回の議会では、平成29年

度宮城東部衛生処理組合会計

補正予算(第1号)について、

県仙台地方振興事務所が、ほ

場整備を行うにあたり、組合

所管の工業用水道管が支障と

なることから、移設工事を

計上し、その工事は仙台地

方振興事務所が移設補償する

というもので、賛成全員で可

決された。

後藤良郎 議員

今野章 議員

後期高齢者医療広域連合議会

平成29年8月9日(水)、

宮城県後期高齢者医療広域連

合議会第2回定例会が開催さ

れた。

今定例会には、①個人情報

保護条例の一部を改正する条

例、②職員の育児休業等に関

する条例の一部を改正する条

例、③平成28年度後期高齢者

医療特別会計補正予算(第3

号)、④一般会計決算及び特

別会計決算の認定、⑤平成29

年度一般会計補正予算(第1

号)、⑥平成29年度特別会計

補正予算(第1号)、⑦議会

選出の監査委員の選任の同意

の7件が議案提案され、すべ

て原案のとおり可決・承認さ

れた。

色川晴夫 議員

吉田川流域溜池大和町外3市3ヶ町村組合議会

平成29年8月4日(金)、

吉田川流域溜池大和町外3市

3ヶ町村組合議会第1回定例

会が開催された。

平成28年度吉田川流域溜池

大和町外3市3ヶ町村組合

計歳入歳出決算の認定につい

ては、原案どおり可決された。

平成29年度吉田川流域溜池

大和町外3市3ヶ町村組合

計歳入歳出予算については、

歳入歳出総額ともに209万

2千円(松島町は4万5千円)

とし、その歳入の主なもの、

市町村の負担金であり、歳出

の主なもの、修繕費及び堤

体の草刈である。この予算は、

原案どおり可決された。

また、嘉太神溜池補修基金

は、平成29年3月末で、54

4万円となっている。併せて、

嘉太神溜池の現地調査を行っ

た。

阿部幸夫 議員

町政Q & A

一般質問 ここが聞きたい!

6人の議員が 10件について質問

- | | |
|-----------------|--|
| 櫻井 靖 議員 (29ページ) | <ul style="list-style-type: none">◆ 公共掲示版の設置を◆ 避難施設等の平時における積極的利用促進を |
| 今野 章 議員 (30ページ) | <ul style="list-style-type: none">◆ 降雨、日照不足の影響は◆ 住宅施策の充実で定住促進を |
| 菅野良雄 議員 (31ページ) | <ul style="list-style-type: none">◆ 庁舎建設は如何に◆ 新地区整備計画の現状は |
| 後藤良郎 議員 (32ページ) | <ul style="list-style-type: none">◆ 再度、小・中学校入学支援事業について問う |
| 赤間幸夫 議員 (33ページ) | <ul style="list-style-type: none">◆ 仙台松島線の整備促進を◆ 新役場建設への取組みは |
| 澁谷秀夫 議員 (34ページ) | <ul style="list-style-type: none">◆ 松島四大観の魅力発信は十分か |

※一般質問とは

議員が首長などの執行機関に対し、行政全般にわたる施策の状況や方針などについて説明・報告を求めること。



さくら い やすし
櫻 井 靖 議員

問 公共掲示板の設置を

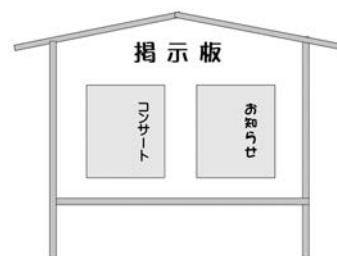
答 町で設置し、管理するのは難しい

問 町または区で管理している公共掲示板は町内にどれくらいあるのか。

企画調整課長 町が直接管理しているものはない。また、行政区や地域で独自に設置管理している掲示板は22カ所である。

問 広報は月に1回しか発行していないが、急なお知らせを伝える手段をどう考えているか。

企画調整課長 事前に分かっていく情報については、極力広報で前の月にお知らせする努力をしていく、なおかつ緊急に町民全体に告知したいというものが仮に出た場合は回覧板だと考えている。



問 町が情報を町民に知らせる手段として、広報紙、防災行政無線、インターネットがあるが、それぞれ長所・短所がある。必要なときに必要な情報をしつかりと伝えるため、公共掲示板を設置してはどうか。

町長 掲示板は、町で設置し、管理するのは難しい。各地区で管理しているものと思う。11月に区長会の研修があるので、区長さん方と意見交換してみたい。

問 避難施設等の平時における積極的利用促進を

答 ホームページや広報で広く周知していく

問 避難施設の平時の利用について町のホームページに載っていないのはなぜか。

町長 避難所等については、建設することが目的と考えていたが、今後は利用促進を促し、一定の収入をあげること、経費として使われ還元できるように循環的な仕組みを考えていきたい。さらにホームページや広報で広く周知していく。

問 パノラマハウスの1階部分の利用について、今までの利用実績は、そして今後の活用をどのように考えているのか。

産業観光課長 1階の交流スペースについては、これまで一般の方への貸し出し実績はほとんどない。公園に訪れる方に休憩ができるスペースとして利用してもらっている。

問 パノラマハウスの1階交流スペースで飲食ができない理由はなぜか。

産業観光課長 2階の事業所が飲食店営業の許可を得ているため、もし持ち込んだものを食べて食中毒になった場合、営業許可を受けてる事業所の責任になってしまうため、飲食禁止になっている。

問 パノラマハウスと観瀾亭分室は、松島のVIPルームだと思う。高額のふるさと納税をされた方、「四季島」の乗客などの接待の場所として考えられないか。

産業観光課長 提案された内容を含め、観光客として訪れる方を含め皆さんがどのような使い方を望んでいるか、提供の仕方とあわせて検討したい。



パノラマハウス交流スペース

問 降雨、日照不足の影響は

答 水管理など指導を徹底



あきらの 今野 議員

問 農地荒廃や空き店舗、空き地が目立つ。地場産業を元気にし、地域経済が回る振興策が必要ではないか。経済波及効果も期待できる住宅リフォーム助成制度の実施は。

町長 現在、遊休農地を活用し水稲以外の農作物栽培など特産品づくりを始めており、地場産業の振興と松島ブランドの取り組みとして広めたい。また、空き家が増え、リフォーム等の利活用に補助制度が必要と思う。空き家の利活用を考えると民間会社も立ち上がり、若者定住へ空き家対策を進めたい。

問 農業の高齢化に所得減少が加われば、さらに離農が進み、農村という形そのものが崩れていく。今夏は、長雨、日照不足による稲作への影響が心配されるが、現況と今後の対策はどうか。

町長 降水連続日数36日と心配したが、8月30日東北農政局発表の作柄概要は「やや良」。また、葉いもち病が一部見受けられ、ササニシキは倒伏の危険がある。今後、水管理と草刈りの徹底など指導を行っていく。

問 米60kg当たり生産費が平成28年度で1万5390円。生産費を償えない米価の中、来年度から反7500円の直接支払交付金が廃止される。交付金制度の廃止中止を求めるべきではないか。

町長 制度廃止に伴う財源配分の変更を踏まえ、町の稲作等の支援方針を決定する。また、今後の国の方針を踏まえ、議会と連携して取り組みたい。

問 住宅施策の充実で定住促進を

答 優良賃貸住宅の整備は難しい

問 長期総合計画で地域優良賃貸住宅の建設を検討するとしているが、その実現の可能性と時期は。

建設課長 長寿命化計画で木造住宅の建て替えも含め検討したが、本町での地域優良賃貸住宅の整備、実現は難しい。

問 高齢者・障がい者のための住宅施策、若者の住宅建設など定住対策の具体的な施策は。

町長 町単独での支援は難しいが、復興支援定住促進事業補助金の継続など若年層への補助制度等の周知を図りたい。

問 長寿命化計画では、愛宕住宅・上初原住宅・小石浜住宅は解体し、町営住宅を212戸から147戸に削減する計画だが、払い下げを含めた今後の対策は。

副町長 いま住んでいる方のご意見も伺い、慎重に町全体の町営住宅のあり方を検討していきたい。



役場から高城を見る



菅野良雄 議員

問 庁舎建設は如何に

答 平成32年ごろに検討したい

問 現庁舎は、本庁舎建設するまでの10年間を考慮して建設された。個人的には10年間利用後も十分耐用できると思うが、借りている土地の賃借契約は10年である。庁舎の今後について、どう考えているのか。

町長 復興創生期間であることから災害復興事業を最優先として取り組んでいる。復興事業のめどが立つ平成32年頃に庁舎建設等について検討したい。



役場庁舎

問 庁舎建設は、国・県の補助はなく基金や起債で賄うことになっている。平成32年から大丈夫なのか。

町長 避難施設等の維持管理費が高む。一方、公共施設に耐用年数を超えたものも多々あり、新築か、改修しなければならぬ。更に、保育所建設もある。そうなると庁舎の建設には入れない。

問 早く建設しろということではない。土地の賃借契約は10年であり、万が一、移転建設となれば建設基金を蓄えていなければ大変なことになると思うが。

町長 以前、土地所有者と話した際は売却の意思はなかった。移転先が決まらないと賃借期間を延長する方向で協議することになる。基金を蓄えるということは大変重要と思っており、5千万円ずつ毎年積み立てるよう努力する。町民の意見を十二分に把握して方向付けしていきたい。

問 答

新地区整備計画の現状は

県との協議継続

問 新地区整備計画は品井沼駅周辺での住宅供給方策と思うのが見えな。概要を説明する必要があると思うが。

企画調整課長 町で検討し、県と協議を行っている。新計画は、くぬぎ台と状況が異なり、適正な街区形成を目的に道路整備を位置づけ、良好な住環境の維持を図るとする内容である。



品井沼駅前

問 品井沼地区は「大規模既存集落」として昭和62年、県知事が指定している地域であることや、「鉄道整備一体型住宅開発等促進事業」で宅地開発事業を実施する地方公共団体は国庫補助金を受けられること等を提言し、駅周辺の活性化を求めてきたが、いずれも都市計画法をクリアするのは難しいとの答弁で進展がなかった。この計画も検討・協議した結果難しいとのことでは終了となるのではないか。

企画調整課長 今年度、県と3回協議したが、具体性を求められる。いつまでに誰が、どういう資金計画でという部分まで県に持っていけないと話が進まないという状況下にある。

問 現状では素案もなく計画策定までの期間も定かでない。実現してほしいが確認できるか。

町長 責任があることは痛感しており、今年度は目の色変えてやっているのが現状である。



再度、小・中学校入学支援事業について問う



トータル的な子育て支援の中で考えていきたい



ごとう よしろう 議員
後藤 良郎

問 最近は核家族や都市化への流れから家庭や地域が抱える課題は多種多様になってきている。

そのような中で、本町では将来を担う子供たちがこれからもたくましく成長し、親御さんが喜びを感じながら安心して子育てできる環境の整備を図ることは大切な役割である。

その意味で、なお一層の取り組みが求められると考える。29年度の本町の小・中学校の新入学者数を伺う。

教育課長 小学校全体で93人。内訳として、第一小学校が50人、第二小学校が30人、第五小学校が13人である。中学校については、104人である。

問 多くの保護者や関係者から利府町で行われている支援事業の中で、運動着の無料支給制度について、本町でも取り入れてほしいという声が多い。小学校において運動着の上下Tシャツ、クォーターパンツ、紅白の帽子と、中学校においては運動着の上下、Tシャツ、そしてハーフパンツという内容である。

本町にあてはめた場合、費用はどれ位か。

町長 小学生で94万円、中学生で140万円、トータルで234万円位である。



問 27年の6月議会で取り上げたときに、次年度の予算において優先的に取り組んでいくという答弁があった。

また、27年に第2常任委員会にて子育てに関するアンケートを初めて町内小中学校の保護者を対象に行った。この中で一番要望が多かったのが、小・中学校の入学支援事業である。

この教育に係る保護者の経済的負担を軽くするためにも、小・中学校の新入生にかかる運動着を無料で支給するこの小・



中学校就学支援事業について実施をすべきと考えますが町長の所見を伺う。

町長 子ども医療費全額無料や準要保護児童制度に対する新入用品費の増額、また第三子以降の子供が小学校に入学した際、3万円の祝い金として支給や学用品の購入に伴う経済負担の軽減を行っている。この事業についてはトータル的な子育て支援の中で考えていきたい。



あかまゆきお 赤間幸夫 議員

問 仙台松島線の整備促進を

答 継続的に県へ要望してきているが、難しい

問 道路渋滞や交通事故の発生状況等は。
町長・建設課長 初原地内の大和松島線との交差点部分や国道45号愛宕交差点から松島第二小学校付近までの区間で渋滞していること、また、交通事故の発生状況では、警



県道・仙台・松島線 初原健康館付近

察署へ確認したところ、利府町境から国道45号愛宕交差点までの区間では、交差点付近での事故が多く、毎年50件ほどの事故が発生している。

問 道路利用者や住民からの苦情等は。
建設課長 住民及び道路利用者から宮城県や町に対し、年間数件ほど道路の維持補修や排水について苦情があり、その都度、宮城県に対し苦情の対応をお願いしている。

問 新役場建設への取組みは

答 山積する行政課題を優先に、32年以降にスタート

問 仮設庁舎に対する経費は、賃借料であり地代である点から、将来とも買い取りをしない限りにおいては町の財産ではない、あくまで仮住まいであることの意味すること

副町長 仮庁舎でありながらもこの庁舎というのは、町のシンボルである。

問 出来るだけ早く、町民の声を反映した庁舎イメージを立ち上げる考えは。

町長 地主との話合いの中で、5年を過ぎた段階で、5年を過ぎてからの話であって、今の段階では一切考えていない。

問 組織的に、庁舎建設のためのプロジェクトチーム設置の考えは。

副町長 復興が終わる見通しの32年頃がスタートと考えるが、今の段階では、保育所や学校等の施設に係る維持管理の問題を優先に取組みを行っていく。

問 緊急避難路確保のうえから、重要路線であり早急に整備促進をしなければならぬ路線と考えるが、どの様な認識か。
町長 仙台松島線や初原バイパスなど重要路線は、町単独ではなく近隣市町とも連携して国・県へ整備促進の要望を行っている。今後あらゆる機会を捉え要望活動を行い、良い方向にと考えている。



役場庁舎



松島四大観の魅力発信は十分か



松島魅力を発信し、豊かな地域へ



しげ や ひで お
澁 谷 秀 夫 議員

問 松島の観光で魅力の一つは、歴史上の人物が憧れた多島海景観にある。多島海を展望できるビュースポットとして、松島四大観があり、平成25年改正の「松島町観光振興計画」の中で上位に位置付けている。

町はホームページ等で四大観の魅力発信を行っているが訪れる人は少ない。松島湾の素晴らしさを全世界の人々にアピールし、もっと多くの観光客に訪れてもらうためにはどうすべきか町の考え方について伺う。

松島町が発信している松島四大観への反響はどのようなものか、また、観光客の実態はどうなっているか。

「Visit Matsushima」は、世界各国で閲覧登録されていて、特に松島の雪景色は

産業観光課長 町は、松島四大観を含む町全体の観光について、公式ホームページ、英語版フェイスブック、「Visit Matsushima」、観光冊子「徒歩旅行松島」等を通して情報発信を行っている。

大きな反響を得ている。観光客の実態は、平成28年度に実施した観光経済波及効果測定分析での観光客アンケートの結果によると富山、扇谷に行った、これから行く予定と回答した人は、少なかった。



四大観「富山」からの眺め

問 松島湾「ダーランド」構想における平成28年度の活動実績は。

産業観光課長 外国人観光客のための共通多言語案内板の設置、松島湾サイクルツーリズムモデル事業、多言語対応観光ウェブサイトの製作などを実施し、宮城県と松島湾を取り巻く三市三町で観光振興を図ってきた。

問 富山・扇谷の展望台までの観光客誘導の有効策は。

町長 周遊バス、周遊タクシーを検討したが、市や町の経済負担割合などの問題があり、実現に至っていない。

また、観光客のニーズに合わせ、松島四大観からの眺望と遜色のない眺望が出来る西行戻しの松公園の環境整備を進めている。



松島湾

議会活動

- 7月25日・26日 町村議会議員講座
- 8月1日 東日本大震災復興対策特別委員会
- 8月1日 東北放射光施設誘致調査特別委員会
- 8月4日 第34回松島町戦没者追悼式
- 8月15日 第7回松島流灯会海の盆
- 8月29日 宮城県町村議会議員研修会
- 8月31日 土井復興副大臣来町
- 9月16日 第40回長松園まつり
- 9月18日 松島町敬老会
- 10月19日 議会報告会全体会議

以上のとおり、8月は町内各地区での夏祭り・盆踊り大会。9月には松島中学校運動会及び幼稚園の運動会が開催され各議員はそれぞれの地区に出席しました。

また、各常任委員会、議会運営委員会、特別委員会、議会報告会に向けた班長等会議が開催されました。



宮城県町村議会議員研修会

視察来町

- ① 7月24日 宮城県加美町議会議会運営委員会 予算・決算特別委員会の運営等について
- ② 8月3日 長崎県佐世保市議会市政クラブ 世界で最も美しい湾クラブへの加盟等について
- ③ 8月9日 埼玉県蕨市議会新生会 子育て支援事業（子育て支援サイト）について
- ④ 10月11日 北海道利尻町議会 防災の取り組みと震災からの復興について現地視察（石田沢防災センター）



長崎県佐世保市議会 市政クラブ



宮城県加美町議会 議会運営委員会



北海道利尻町議会



埼玉県蕨市議会 新生会

町民の声



飯川 ひとし さん
(北小泉)

誰もが住み良い松島町へ — 教育充実と町政参加 —

松島町は今、大きな岐路に直面していると思います。若者の町外流出や出生率低迷で、松島町の人口は急激に減っています。この町の将来のためには、たとえ人口が減っても住み良い松島町を創ることが大切だと思います。

それにはまずは教育です。現在の松島町の義務教育体制は、小学校3校、中学校1校です。一方で、近年の新生児数は年間60人程度。将来ともしっかりと松島町が一体で義務教育を行うため、この教育体制の見直しが必要不可欠です。4校を「小中一貫校」1校に統合し、子供達と

学力を向上させる体制を創ることが必要です。そしてつぎは、町政への住民参加の機会拡大だと思います。例えば町議会を夜間や休日に開催すれば、もつと多くの町民の皆さんが傍聴できるのではないでしょうか。また、現在は非公開の町の審議会などを、町民の皆さん誰もが傍聴できるようにすれば、町政への理解が更に進むと思います。

教育体制の充実と町政参加の拡大、これが、小さくともキラリと光る町、誰もが住み良い松島町へ変っていく第一歩になると、私は考えています。

旭日単光章受章



大山幸市氏（元町議）が旭日単光章を受章されました。議員として昭和60年より12年間の長きにわたり、高邁な政治理念をもって町政発展のために尽力された功績が認められました。

表紙を飾られた、皆さんからのメッセージ

国際総合武道教育連盟 松島空手道場 代表 小野正晃

この度は、まつしま議会だよりに掲載をいただきありがとうございます。

日頃、松島町ならびに初原地区の皆様におかれましては、松島空手道場の活動にご理解とご協力いただきまして、誠にありがとうございます。お陰様で多くの道場生が様々な全日本大会に東北代表として出場しています。

幾度も全日本に挑戦し続けてまいりましたが、この度、悲願でありました全日本チャンピオンを輩出することができました。

重ねてになりますが、これも地域の皆様のご支援ご協力の賜物と感謝いたします。今後も空手道の教えを通じて青少年の健全育成に努めてまいります。

次回12月の定例会は

12月15日

開催予定です。
ぜひ、傍聴においで下さい。



平成29年度議会報告会に
多くの皆さまにご参集いただき
ありがとうございました。

編集後記

現委員での編集作業は、今回の号で最後となります。新人、ベテラン、久しぶりの方とそれぞれの特性を活かしながらアナログ、デジタル取り混ぜて個性豊かに編集作業に当たってまいりました。

鉛筆をなめながら原稿用紙に向かう議員、パソコンのキーボードをリズムカールにたたく議員、デジカメを背負って町内を駆け回る議員、ひとつ一つ手作りで「議会だより」を作った参りました。

今回の号は36ページと読み応え満点です。汗をかきながら編集している議員の顔を思い浮かべながら読んでいただければ幸いです。

次回からは、広報広聴常任委員会広報分科会として新たなメンバーにより編集作業が行われます。次号もどうぞご期待ください。
(櫻井 靖)

議会広報発行対策特別委員会

- 委員長 阿部 幸夫
- 副委員長 櫻井 靖
- 委員 赤間 幸夫
- 後藤 良郎
- 高橋 幸彦
- 今野 章